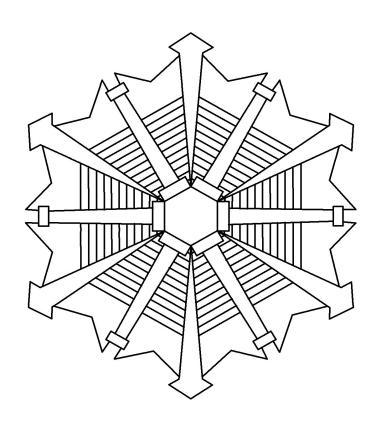
## 消防年報

### 令和4年版



葉山町消防本部

町 章



町の花

つつじ

町の木

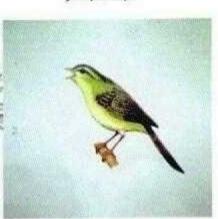
くろまつ

町の鳥

うぐいす







### まえがき

この年報は、令和3年中(一部令和3年度等)における葉山町の消防 現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対 する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。 なお、気象統計は葉山町消防署の観測によるものです。

令和 4 年 11 月

葉山町消防本部

### 目 次

【報告編】	
第1章 消防・救助活動について	
火災の状況	1
救助の状況	1
災害への出場状況	2
救急支援出場及び救命活動	2
消火活動及び救助活動体制の強化	3
緊急消防援助隊の派遣	3
第2章 多様化する災害への対応について	
車両整備状況	4
消防水利	4
NBC災害への対応 ·······	5
第3章 救急活動について	
救急業務の実施状況	5
救急業務高度化の推進	6
応急手当の普及啓発	7
第4章 通信指令業務について	
消防指令センター	8
119 番通報受信状況	8
ファクスからの 119 番通報	9
インターネットを利用した通報	9
町民への災害発生情報の提供	10
第5章 予防行政について	
火災予防広報関係	10

11

防火対象物関係

危険物関係	12
住宅防火対策の推進	13
第6章 消防団の活動について	
葉山町消防団の紹介	13
消防団の主な活動	14
令和3年度に実施した主な活動	14
消防団員の募集	14
消防団協力事業所表示制度	15
葉山町学生消防団活動認証制度	15
【資料編】	
葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	16
町勢	
位置	35
面積・人口・世帯数	36
地区別情勢	36
人口の推移	37
消防情勢	
消防本部・署・団設置	38
消防本部機構図	38
消防署機構図	38
消防本部事務分掌	39
消防署事務分掌	40
消防本部・署・団情勢調	42
消防本部・署・団車両等	42
消防本部・団本部署所配置図	43
庶務関係	
消防予算額	44

	町予算と消防予算の比	44
	消防費と人口・世帯の比	44
	消防職員定員·実員 ······	45
	消防職員年齢	45
	消防職員勤続年数	45
	教育実施状況	46
	特殊技能資格者	47
荷	<b>警防関係</b>	
	火災概況	48
	出火原因別火災発生状況	48
	火災発生状況	49
	火災覚知方法時間別状況	50
	地区別火災発生状況	51
	時間別火災発生状況	52
	消防署の消防車両等の出場状況	53
	令和3年中出場件数	54
	過去 5 年間の山中救助出場	55
	年別所要時間別山中救助(覚知~救出完了)件数	55
	消防本部·署現有車両機械 ·······	56
	警防用機器資材	57
	消防水利現勢	59
	空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	60
	過去3年間の枯草繁茂状況	60
扣	旨令関係	
	町の通信施設	61
	消防通信システム系統図	62
	消防指令センター・消防本部・消防署回線	63
	消防指令センター・消防本部・消防署通信機器	64
	無線局配置状況	65
	防災行政無線システム構成図	66

防災通信機器等	67
消防団通信機器等	69
119 番着信件数(固定・IP 電話)	70
119 番着信件数(携帯電話)	70
NET119 を利用しての通報件数	70
NET119 登録者数 ····································	70
気象関係	
月別気象調	71
風向頻度調	72
予防関係	
防火対象物・防火管理者選任状況	73
3 階建て以上防火対象物状況	74
防火対象物届出状況	75
その他届出状況	76
危険物関係届出状況	77
火災予防査察実施状況	78
危険物施設状況	79
地区別危険物施設状況	80
地区別危険物貯蔵取扱状況	80
危険物施設許認可処理状況	81
用途別建築同意等事務処理状況	82
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	83
過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	83
救急関係	
救急概況	84
町内外在住別搬送人員状況	84
傷病程度別搬送人員状況	84
発生日別状況	84
救急救命士資格者及び再教育実施状況	84

救急出場・搬送人員状況	85
月別救急出場・搬送人員状況	86
過去 5 年間の救急出場・搬送人員状況	87
過去 5 年間の救急出場・搬送人員状況の推移	87
町内外在住別救急搬送人員状況	88
時間別救急出場状況	88
曜日別救急出場状況	89
<b>党</b> 知別救急出場状況 ·······	89
地区別救急出場状況	89
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	90
救急隊員の行った応急処置	91
収容状況	92
医療機関紹介状況	92
応急手当普及啓発活動実施状況	92
救助関係	
救助概況	93
救助出場人員・活動人員状況	93
発生場所別救助人員状況	93
救助出場車両・活動車両状況	94
発生場所別救助出場(活動)状況	94
時間別救助出場(活動)状況	95
地区別救助出場状況	95
消防団関係	
消防団組織図	96
消防団員定員・実員	96
消防団員報酬	96
消防団員出動費用弁償	96
消防団詰所所在地	97
消防団員配置	97
消防団員年齢	98

消防団員勤続年数	99
消防団出場状況	99
消防団現有車両機械	100
消防団備品配置	101

#### 第1章 消防・救助活動について

#### 1 火災の状況

#### ● 火災件数

令和3年中の火災発生件数は2件です。

火災種別ごとに見てみると、建物火災1件、その他の火災1件で、林野火災、車両火災、 船舶火災、航空機火災の発生はありません。

#### ● 建物焼損面積と火災損害額

令和3年中の建物火災による焼損面積は300 ㎡、損害額は99,786千円です。

#### ● 出火原因

令和3年中の出火原因は、放火の疑い、不明となっています。

#### ● 火災による死傷者

令和3年中の火災による死者、負傷者は発生していません。

#### 2 救助の状況

#### ● 救助出場について

令和 3 年中の救助出場件数は 29 件で、そのうち 21 人を救出しています。 内訳は、表 1 のとおりです。

(令和3年中)

		出場件数(件)	救出人員(人)
火	災	1	0
交 通 事 お	故	1	1
水 難 事 故	钕	13	9
機械による事故	钕	1	0
建物等による事故	故	5	4
ガス及び酸欠事故	钕	1	1
その他の事故	故	7	6
合	計	29	21

表1 救助出場件数及び救出人員内訳

#### 3 災害への出場状況

#### ● 消防隊の活動について

令和3年中の消防隊(ポンプ隊)は、火災や救助出場のほかに、救急支援出場(傷病者の搬送支援や救命活動といった救急隊の活動を支援する)等、さまざまな災害に出場しています。

種別ごとの出場状況は、表2のとおりです。

( 会和	3	在口	Ь)

н			<b>≑</b> □	出場件数	出場人員	出場車両
	内		訳	(件)	(人)	(台)
火			災	3	66	19
救			助	29	329	116
危	険	排	除	15	96	34
偵			察	25	120	45
調			査	5	24	9
救	急 支	援出	場	105	503	202
そ	O.	)	他	0	0	0

表 2 消防隊等出場状況

※火災及び救助出場にあっては、他市消防(局)本部、消防団の出場人員、車両を含みます。

#### 4 救急支援出場及び救命活動

救急支援出場とは、ポンプ隊等と救急隊が連携して傷病者の搬送や救護処置を迅速かつ確実に行う行動をより充実させ、心肺機能が停止した傷病者に対して多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路等が狭いために傷病者の搬送が難しい場合等、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、119番通報の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えてポンプ車等の消防車両を同時に出場させ、救急隊とポンプ隊等とが連携した救急活動を行うものです。

令和3年中の救急支援出場の種別ごとの件数は、特定31件、救命74件となっています。 救急支援出場の出場基準は、次のとおりです。

#### ● 救命

- (1)119 番通報の内容から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命処置等が必要な場合。
- (2) 救急隊現場到着時に心肺機能停止状態であり、迅速な救命処置が必要な場合。

#### ● 特定

- (1) 中高層マンションや海水浴場等、救急隊員のみでは対応が困難な場合。
- (2) 幹線道路での活動で、傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合。
- (3) 救急隊の到着が遅延する場合。

#### 5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性や危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を 強化するため、平成24年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用してい ます。また、平成27年度からは、CAFS付消防ポンプ自動車の運用を開始し、令和3年 度には2台目の運用も開始しています。

※CAFS とは「Compressed Air Foam System」の略で、日本語に訳すと、「圧縮空気泡消火装置」となります。これは水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発砲させる装置で、水の表面積を広げることで効率よく消火することができます。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害や自然災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し、年間を通して実践的な訓練を計画的に行っています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が必要不可欠であり、災害の 規模や状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制の充実が重要になり、早期に活動できるよう平成 22 年 度から水難救助活動資機材を配備し、海水浴シーズンは海上警備を行っています。



水難救助艇

#### 6 緊急消防援助隊の派遣

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災での教訓(人命救助活動等を行う応援部隊の早期出動の必要性等)を踏まえて平成7年に創設された全国的な消防応援活動の制度です。被災地の消防力では対応困難な大規模災害や特殊災害等の発生に際して、消防庁長官の出動の求め又は指示により出動し、現地で消火活動や救助活動等を行うもので、近年では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では宮城県仙台市へ当町から10人の消防職員を、令和3年7月3日に発生した土石流災害では静岡県熱海市へ7人の消防職員を派遣しています。

#### 第2章 多様化する災害への対応について

#### 1 車両整備状況

当町では、火災の予防や警戒、鎮圧、救急業務や人命救助等の災害に備え、人口や地勢等の実情を勘案し、必要な車両を配備しています。

(令和	4	4	1	現才	亡)
7 11 A.D.	_	. –		277.1	1./

車							種	台 数
指			推	Ĭ.			車	1
消	防	ポ	ン	プ	自	動	車	2
救	,	助		C.	作	:	車	1
高	規	格	救	急	自	動	車	2
非	常	用	救	急	自	動	車	1
機	į	動	利	<del></del>	載	,	車	1
機		動					車	1
資	,	材	拼	投	送	į	車	2
			車	侖			車	2
総							数	13



消防ポンプ自動車

#### 2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくてはならないもので、その種類には、消火栓や防 火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」で定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

- 消火栓は水道配管に取付けられているもので、町内に 450 基 (令和 4 年 4 月 1 日現在、 私設含む)を道路歩道上等に設置しています。
- 防火水槽は町内に 163 基(令和 4 年 4 月 1 日現在、私設含む)を設置しています。 水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在で は耐震性防火水槽の整備に努めています。

#### 3 NBC災害への対応

NBC 災害とは放射性物質(Nuclear)、生物剤(Biological)、化学剤(Chemical)による特殊災害のことをいいます。この特殊災害に対応するため、NBC 対応資機材を保有しています。

(令和4.4.1 現在)

対	応	資	機	材	個 数
有	毒 カ	<i>ĭ</i> ス	測定	器	1
複	合 型	ガス	測定	器	3
放	射	線 測	定	器	3
個	人	用 線	量	計	17
放	射	線防	護	服	5
陽	圧 式	化 学	防護	服	2
化	学	防	護	服	39

保有 NBC 対応資機材

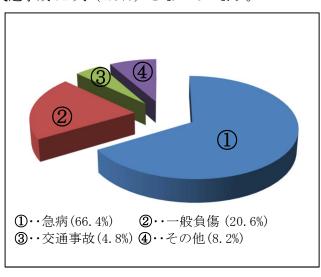
#### 第3章 救急活動について

#### 1 救急業務の実施状況

#### ● 救急出場の状況

令和3年中の救急自動車による救急出場件数は1,608件、搬送人員は1,508人となっており、町民の22人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

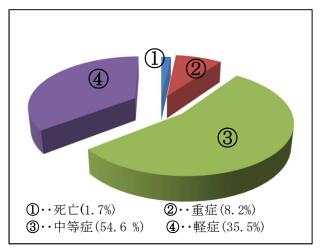
事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病 1,002 人 (66.4%)、一般負傷 311 人 (20.6%)、交通事故 72 人 (4.8%) となっています。



事故種別ごとにみる搬送人員の状況

#### ● 傷病程度別搬送人員の状況

令和3年中の救急自動車による搬送人員1,508人のうち、死亡25人(1.7%)、重症124人(8.2%)、中等症824人(54.6%)、入院加療を必要としない軽症535人(35.5%)となっています。



傷病程度別搬送人員の状況

#### 2 救急業務高度化の推進

#### ● 救急救命士の処置範囲の拡大

#### (1) 除細動

平成3年の救急救命士法の施行により、医師の具体的指示の下に救急救命士が行っていた除細動は、平成15年4月から医師の包括的指示の下で行うことが可能となっています。

#### (2) 気管挿管

平成16年7月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。更に平成23年8月から追加講習と病院実習を修了した救急救命士は、気管内チューブによる気道確保の安全性や確実性が高まるビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用が可能となっています。

#### (3)薬剤投与

平成 18 年 4 月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。更に平成 21 年 3 月からアナフィラキシーショックによって生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤 (エピペン)を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤 (エピペン)を投与することが可能となっています。

(4) 心肺機能停止前の静脈路確保、輸液、血糖測定及びブドウ糖溶液の投与 平成 26 年 4 月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。 三浦半島地区では平成 27 年 10 月 1 日から運用が開始されています。

#### ● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応 急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、 葉山町)の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、次のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制
- (2) 医師によって医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を再教育するための病院実習
- (4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習と実習

#### 3 応急手当の普及啓発

救急要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、平均で 8.1 分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に行われることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法や AED の安全な使用方法等について講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習 会は、「広報はやま」等の広報誌で受講者の募集を行っています。

また、規定の講習以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」を行っています。



救急講習会

#### 第4章 通信指令業務について

#### 1 消防指令センター



横須賀市・葉山町消防指令センター

火災や救助、救急等の出場は、そのほとんどが町民等からの 119 番通報から始まります。 当町は、平成 27 年 4 月 1 日から横須賀市と三浦市と共同で 119 番通報の受付、消防車・ 救急車の出場指令を行う「消防通信指令事務の共同運用」に参画しています。

消防指令システムでは、119番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索 装置によって瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に予告指令を行 い、災害通報を受信中であることを消防署に通知して出場準備を促します。

また、全ての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる車両を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書を送信します。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令 情報を表示させ、活動中に防火対象物や危険物、水利、災害時要援護者等の支援情報を表示 し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。

#### 2 119 番通報受信状況

令和3年中の町内からの119番通報は2,380件あり、1日平均約7件、約221分に1件の割合で119番を受信しています。

そのうち、固定電話(NTT 東日本)からの通報は 424 件 (18%)、IP 電話(NTT 以外の有線電気通信)からの通報は 825 件 (35%)、携帯電話からの通報は 1,131 件 (47%) となっており、固定電話と IP 電話を合わせた有線電話が 53%、携帯電話が 47%となっています。

受信内容は、火災や救助、救急等の緊急性のある通報が 1,687 件で 70%を占めていますが、病院等の問い合わせや、いたずら、間違い・無言等の緊急性のない通報(訓練・試験を除く)が 519 件で 22%を占めていることから、適切な 119 番通報を心がけるよう呼びかけています。

#### 119番通報受信状況

(令和3年中)

		119 番全体	固定電話	IP 電話	携帯電話
緊急性あり	火災	12	4	1	7
	救急	1,575	207	682	686
	救助	18	3	1	14
	その他災害	35	11	6	18
	他都市転送	47	0	2	45
	小計	1,687	225	692	770
緊急性なし	問い合わせ	123	7	32	84
	いたずら	4	1	1	2
	間違い、無言	122	12	20	90
	その他	270	50	56	164
	小計	519	70	109	340
その他	訓練	107	64	24	19
	試験	67	65	0	2
	小計	174	129	24	21
合計		2,380	424	825	1,131

#### **3** ファクスからの 119 番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災や救助、救急等の出場要請を受信するため、119番専用回線によるファクス通報を運用しています。更に平成27年4月1日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

#### 4 インターネットを利用した通報

平成26年7月1日から聴覚障害がある方や音声による緊急通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンで緊急通報を行うことができる「Web (ウェブ)119サービス」の運用を開始し、平成29年12月からは「NET (ネット)119サービス」に移行し運用しています。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作で GPS による位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字で対話する機能(チャット機能)を使用し、通報場所の 特定や状況の把握をより詳細に行うことができます。

#### 5 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所や活動状況等を消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

	電話	0 4 6 - 8 2 4 - 8 1 1 9 (自動音声)
災害情報のご案内	ΗР	http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html

#### 第5章 予防行政について

#### 1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

#### ● 火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両による町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗、消防庁舎に設置した電光掲示板による防火広報を行っています。また、消防団の協力のもと消防団車両による巡回広報等を行っています。

#### ● 消防フェア

秋の火災予防運動期間中、消防庁舎又は町内の複合施設等において、消防フェアを行っていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止させていただきました。今後も、消防フェア開催時には、消防車両の展示やミニ救命講習、住宅防火に関する広報等を行うことで、消防業務への理解と火災予防の啓発に努めていきます。

#### ● 山火事防止

ハイキングコースを巡回し、山火事防止看板の点検を行うとともに、老朽化 した看板は適宜交換しています。また、コース内にある可搬ポンプの点検を行 い、山火事防止に努めています。



#### ● 防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発や向上を目的に町内小学4年生を対象とした防火ポスターコンクールを毎年行っています。令和3年度は8作品の応募があり、応募いただいた作品は葉山町公式ホームページ内で掲載することによりオンライン展示会を行いました。



また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広告ポスターを制作し、公共施設 や町内物販店舗等に掲出するなど、町民の方々に広く火災予防を呼びかけていきます。

#### 2 防火対象物関係

町内における防火対象物の消防用設備等設置検査や消防 訓練時に積極的に立会いを行い、消火や避難、通報訓練の 指導を行うとともに、関係者への防火指導や防火教育を行 い、防火対象物の火災を未然に防げるよう努めています。



#### ● 防火対象物査察

年間を通して町内の集会所や飲食店、物品販売店舗、宿泊施設、 福祉施設、その他の防火対象物の査察を積極的に行っています。

消防用設備等の維持管理や避難施設の管理状況、防火管理体制等を確認し、消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。



#### 3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災や流出事故を未然に防ぐことを目的とする取り組みを行っています。

#### ● 危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。また、期間中は葉山町危険物安全協会が主催となり、消防庁舎において葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っており、令和3年度は普通救命講習会を行いました。



#### ● 危険物施設査察

危険物施設からの火災や流出事故を未然に防止することを目的として町内の危険物施設の査察を行っています。



#### ● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵 所や危険物運搬車両による事故を未然に防止する ため、常置場所や消防庁舎前において査察を行って います。



#### 4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、多くの高齢者が犠牲となっています。住宅 火災による死者の発生を防止するため、住宅防火対策への取り組みを行っています。

#### ● 住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火、避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具や 調理器具の使用、住宅用消火器やエアゾール式簡易消火具、住宅用自動消火装置、住宅用ス プリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に 推奨していきます。

#### ● 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の設置義務化から 10 年以上が経ちます。

今後は、更新時期を迎えていることから、適正な維持管理を呼びかけ、連動型住宅用火災 警報器への交換を推奨するとともに、未設置住宅に対しては設置の重要性を訴え、早期の設 置を促し、火災の予防、早期発見により、町民の生命・身体・財産を火災から守るとともに、 被害を軽減できるよう努めていきます。

#### 第6章 消防団の活動について

#### 1 消防団の紹介

消防団は消防署と同様の消防機関です。消防署は常勤の消防職員による消防機関であるのに対し、消防団は、普段は様々な仕事に就いている人たちが、火災・風水害・震災時に消防団となり消防活動を行う非常時の消防機関です。当町の消防団は地区ごとに分団を設けられており、本来の仕事や学業などをしながら消防団員として地域に密着した活動をしています。

#### 2 消防団の主な活動

- 町内で火災が発生した場合、消防署の消防隊と消火作業にあたります。
- 台風等の警戒や実際に被害が発生した場合の出場に備え、各詰所に参集します。
- 管内消防水利(消火栓、防火水槽等)の点検・把握を行っています。
- その他に、各分団長が計画する訓練等を行っています。

#### 3 令和3年度に実施した主な活動

- 大雨警報発表に係る警戒(7月)
- ポンプ性能検査(7月)
- 津波避難訓練(7月)
- 秋季火災予防運動(11月)
- 歳末火災特別警戒(12月)
- 津波注意報発表に係る警戒(1月)
- 春季火災予防運動(3月)

#### 4 消防団員の身分と入団資格

消防団の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。入団資格は、年齢 18 歳以上で葉山町に居住または勤務している人であれば、入団できます。



#### 5 消防団協力事業所表示制度

当町では、消防団員の約65%が被用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得るため、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページ等で広く公表することができます。



#### 6 葉山町学生消防団活動認証制度

当町では、消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しています。

この制度は、葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を当町が認証し、 就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消防 団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度で す。

対象は、当町に居住する 18 歳以上の学生等で、当町の消防団に所属し、1 年以上継続的に消防団活動を行った方です。



# 資料編

### 葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年(1947)	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長35名、 副班長35名、団員237名、計323名 消防ポンプ自動車 1台 三輪消防ポンプ自動車 1台 腕用ポンプ 8台
昭和 23 年 (1948)	御用邸より手びきガソリンポンプ1台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長35名、 団員342名、計393名
昭和 25 年 (1950)	小型動力ポンプ(トーハツ VD-50)C-2級3台を購入し、木古庭、 上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 (1951)	第2代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ2台を廃棄する。 小型動力ポンプ(トーハツ VF-48)B-3級1台を購入し、下山口 に配置する。
昭和 27 年 (1952)	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車 (52 年式ニッサン R2B) 2 台を購入し、下 山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) B-3 級 1 台を 上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車 (36 年式フォード) を長柄 に配置替えする。
昭和 29 年 (1954)	小型動力ポンプ(トーハツ VD-50)C-2級1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車(37年式ダッヂ)の修理改造を行う。
昭和 30 年 (1955)	第3代消防団長 伊原 若 就任

### 昭和31年(1956)

木古庭の消防器具置場を増築する。

木古庭と長柄にサイレンを設置する。

消防ポンプ自動車(38年式フォード)1台を購入し、木古庭に配置する。

### 昭和32年(1957)

腕用ポンプ5台を廃棄する。

### 昭和33年(1958)

小型動力ポンプ (トーハツ VF-3) B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50、トーハツ VF-48) 2 台を廃棄する。

消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(37 年式ダッヂ)を一色に配置 替えする。

一色に配置の三輪消防ポンプ自動車(52年式ニッサン R2B)を長柄に配置替えする。

長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (36 年式フォード) を廃車 する。

### 昭和34年(1959)

小型動力ポンプ積載用として、三輪車(マツダ 56CLY81型)1台を購入し、上山口に配置する。

小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。

小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

長柄に詰所を新築する。(木造平屋建、34.65 m²)

#### 昭和 35 年 (1960)

消防団の定員を改正する。

団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、 団員 156 名、計 198 名

消防ポンプ自動車 3台

三輪消防ポンプ自動車 2台

小型動力ポンプ 7台

三輪積載車 1台

### 昭和36年(1961)

下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 ㎡)

消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。

# 昭和 37 年 (1962)

一色に配置の消防ポンプ自動車 (37 年式ダッヂ) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古 庭、長柄に配置する。

木古庭、長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。

### 昭和38年(1963)

第4代消防団長 森谷米吉 就任

小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。

下山口にサイレンを設置する。

木古庭に配置の38年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。

### 昭和39年(1964)

葉山町役場に火災報知専用電話(119番)を設置する。

上山口に配置の三輪積載車(マツダ 56CLY81型)を廃車する。

小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 ㎡)

消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)A-2級1台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車(52年型ニッサン R2B型)を廃車する。

堀内に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VE-50)を廃棄する。

### 昭和 40 年 (1965)

第5代消防団長 萩原宏之助 就任

消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄 に配置する。

長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車(52 年式ニッサン R2B 型)を廃車する。

### 昭和41年 (1966)

上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 ㎡)

小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。

堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52  $\rm m^2$ )

### 昭和 42 年 (1967)

木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 ㎡)

長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 ㎡) 防火水槽(40 ㎡ 堀内)1 基を設置する。 消防職員 実員1名

#### 昭和 43 年 (1968)

葉山町消防本部発足。(3月29日、葉山町一色2155番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任

神奈川県衛生部より救急自動車 (トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。

小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、消防本部 に配置する。

消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40E) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FC70 型)を廃車する。 消防職員 実員 12 名

### 昭和44年 (1969)

小型動力ポンプ (ラビット P403-M) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、 一色に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) を廃棄する。

消防本部に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) と、一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P403-M) を配置替えする。

防火水槽(40 m³ 下山口、長柄)2基を設置する。

消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ-55) A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防職員 実員15名

### 昭和 45 年 (1970)

指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防無線を設置する。

基地局1基10W、移動局3基10W、携带2基1W

葉山町消防庁舎落成(4月1日 葉山町堀内2050番地 鉄筋コンクリート3階建、延べ面積521.972 m<sup>2</sup>)

防火水槽(40 ㎡ 木古庭、堀内)2基を設置する。

消防ポンプ自動車 1台

救急自動車 1台

指令車 1台

小型動力ポンプ 1台

消防職員 実員 19 名

### 昭和46年 (1971)

葉山御用邸焼失(1月27日)

水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞTXG10) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防無線機増設。移動局 2 基 10W

広報車(トヨタマークⅡRT77)1台を購入し、消防本部に配置する。

防火水槽(40 m 上山口)1 基を設置する。

#### 昭和 47 年 (1972)

救急自動車(トヨタ RH18V)1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局1基10W

防火水槽(40 m³ 一色)1 基を設置する。

消防職員 実員22名

### 昭和 48 年 (1973)

防火水槽(40 m 上山口)1基を設置する。

小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VE-3)を廃棄する。

#### 昭和 49 年 (1974)

消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、 一色に配置する。

一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン JR-FRB)を廃車する。 消防職員 実員 27 名

### 昭和50年 (1975)

小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 2 台を購入し、 木古庭、上山口に配置する。

木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(62 年式プリンススーパーマイラー)を廃車する。

木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306、ラビット P402-S)を廃棄する。

消防無線機増設。携帯2基1W

消防職員 実員28名

### 昭和51年(1976)

日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。

### 昭和52年(1977)

第6代消防団長 永津義次 就任

堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。

小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリーH-L50 改) 2 台を購入し、 上山口、堀内に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を堀内に配置替えする。

堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 日本消防協会より広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) 1 台の寄贈 を受け、消防本部に配置する。

消防本部に配置の広報車(トヨタマーク  $\Pi$  RT77)を廃車する。 指令車(トヨタマーク  $\Pi$  E-MX40) 1 台を購入し、消防本部に配置 する。 消防本部に配置の指令車(ニッサンプリンスグロリア HA-30)を 廃車する。

積載車 (ダイハツ S60PD) 1 台を購入し、消防署に配置する。

固定局を設置する。1 基 10W

無線式サイレン吹鳴装置を設置する。

消防職員 実員33名

### 昭和53年(1978)

消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、 下山口に配置する。

下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 消防無線機増設。携帯 1 基 1W

救急自動車 (トヨタ RH42VB-J) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタダイナ RK-171V) を廃車する。 防火水槽 (40 ㎡ 堀内) 1 基を設置する。

消防職員 実員34名

### 昭和54年(1979)

消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、 長柄に配置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W

街頭消火器(20型 ABC 粉末)80基を堀内、一色に設置する。

### 昭和55年(1980)

第2代消防長 尾﨑 昇 就任

消防ポンプ自動車 (ニッサン FH61BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(トヨタFJ-55)を廃車する。 街頭消火器(20型 ABC 粉末)70基を堀内、一色、下山口に設置 する。

防火水槽(40 m 上山口、下山口、堀内)3 基を設置する。

### 昭和56年(1981)

水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼル K-CM85C 改)A-2級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞTXG10)を廃車する。

防火水槽(40 m 堀内)1 基を設置する。

街頭消火器(20型 ABC 粉末)80基を堀内に設置する。

小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、消防署 に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級 1 台を購入し、上山口に 配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。

#### 昭和 57 年 (1982)

消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改 BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 小型動力ポンプ(トーハツ V30AS)B-3 級 1 台を購入し、堀内に 配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 83 基を一色、堀内、長柄に設置する。

消防無線機増設。基地局1基10W 予備機、携帯1基5W

### 昭和58年(1983)

救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH18V) を廃車する。

小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) 1 台を購入し、消防 署に配置する。

消防本部に配置の広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) を廃車する。 街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 81 基を一色、堀内に設置する。

#### 昭和 59 年 (1984)

街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 208 基を木古庭、上山口、下山口、 一色、堀内、長柄に設置する。

### 昭和60年 (1985)

第3代消防長 小峰和夫 就任

第4代消防長 鈴木寶三郎 就任

軽トラック (ダイハツ M-S664WD) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

指令車 (ニッサンブルーバード E-U11 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の指令車(トヨタマークⅡE-MX40)を廃車する。 積載車(三菱 M-U11V 改)1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車(ダイハツ S60PD)を廃車する。

### 昭和61年 (1986)

第7代消防団長 石川清治 就任

救急自動車(トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH42VB-J) を廃車する。

消防無線機増設。移動局1基10W

長柄に詰所を新築する。(鉄骨平屋建、93.61 ㎡)

#### 昭和 62 年 (1987)

小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防救急指令装置 (富士通ゼネラル HA-305)、無線統制台 (富士 通ゼネラル RC-6033) を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員38名

### 昭和63年(1988)

第8代消防団長 矢島正治 就任

小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。

消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I型)を廃車する。

### 平成元年 (1989)

広報車 (スバルレガシィ E-BF3 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の広報車(ニッサンブルーバード L-VJ910 改)を 廃車する。

小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級 1 台を購入し、一色に 配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級を廃棄する。

小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) 1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) を廃車する。

消防ポンプ自動車 (ニッサン T-FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、 木古庭に配置する。

木古庭に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級を廃車する。

防火水槽改修を行う。

消防無線機増設。移動局1基10W

### 平成2年 (1990)

消防団車両9台に消防無線受令機を設置する。

救急自動車 (トヨタ U-LH129S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W

小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリーH-L50 改) を廃車する。

消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改)A-2級1台を購入し、上山口に配置する。

上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I型)を 廃車する。

消防ポンプ自動車 (三菱 U-FG337C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FH61BD-I型)を廃車する。

木古庭の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 m<sup>2</sup>)

第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名

### 平成3年 (1991)

第5代消防長 大竹二郎 就任

小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S83P 改) 1 台を購入し、上山口に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH-L50改) を廃車する。

水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞU-FRR32DBV 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルK-CM85C 改)を廃車する。

消防職員 定員40名 実員40名

消防職員 定員43名 実員43名

### 平成 4 年 (1992)

機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車(トヨタ L-KE72V)1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。

### 平成5年 (1993)

第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第18回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

積載車 (三菱 V-U42V 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 M-U11V 改)を廃車する。

「甲部隊」「乙部隊」を「第1警備隊」「第2警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改)A-2級1台を購入し、下 山口に配置する。

下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD- I 型)を 廃車する。

本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基(5W3 基、1W12 基)

消防職員 定員43名 実員43名

### 平成6年 (1994)

防災車 (トヨタ U-LH119V 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の防災車(トヨタ L-KE72V)を廃車する。

葉山町防災行政無線増設。携帯2基5W

第11回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第19回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第39回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。

消防無線更新。携帯3基5W

高規格救急自動車(トヨタ Z-UZH132S)1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60) 1 台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

### 平成7年 (1995)

第6代消防長 髙木太郎 就任

消防庁舎新築工事着工

兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)発生に伴い4名を派遣する。 (第1次派遣隊、第2次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣) 第12回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第20回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FJ60V 改)を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

### 平成8年 (1996)

新葉山町消防庁舎落成(11月24日 葉山町堀内2050番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上3階地下1階、救助訓練施設併設、延べ面積2,558.77㎡)

消防緊急通信指令装置 I 型(富士通ゼネラル H-315)を整備し、 運用を開始する。

無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。

防火水槽(40 ㎡ 堀内)1基を設置する。

旧消防庁舎を解体する。

小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、 堀内に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。

堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。

小型動力ポンプ(ラビット P475S - DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。

軽トラック(スバル V-KS4 改)1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の軽トラック(ダイハツ M-S664WD)を廃車する。

第13回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第21回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第40回神奈川県消防操法大会に第6分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

### 平成9年 (1997)

日本損害保険協会より救助工作車(ニッサンディーゼル KC-MK211EH改)1台の寄贈を受け、消防署に配置する。

広報車 (ミツビシ E-CD5W 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の指令車(ニッサンブルーバード E-U11 改)を 廃車する。

消防本部に配置の広報車 (スバルレガシーE-BF3 改) を廃車する。 第14回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第22回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

消防無線機増設。移動局1基10W、携帯2基5W

消防無線全国波を導入する。

下山口の詰所を移転新築する。(鉄骨1階建、85.05 m²)

下山口に防火水槽 (40 m³) 1 基、一色に防火水槽 (20 m³) 1 基を 設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

### 平成 10 年 (1998)

第7代消防長 本田恒雄 就任

葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名

第15回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第23回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第41回神奈川県消防操法大会に第1分団出場する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタL-YH71VB)を廃車する。

小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。

防火水槽 (40 m<sup>3</sup>:下山口、一色 20 m<sup>3</sup>:一色 2 基、堀内、長柄) 6 基を設置する。

葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。

消防本部1課(消防総務課)、消防署2課(警備第1課、警備第2課)に改める。

小型動力ポンプ (ラビット P265M型) D-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

#### 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成11年 (1999)

下山口に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級を廃棄する。

第16回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第24回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

上山口の詰所を新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 ㎡) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

# 平成12年(2000)

第17回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ渡過)

第25回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第42回神奈川県消防操法大会に第2分団出場する。

高規格救急自動車 (トヨタ GE-VCH32S) 1 台を購入し、消防署に 配置する。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

# 平成 13 年 (2001)

第8代消防長 行谷正道 就任

消防署に配置の救急自動車(トヨタ U-LH129S)を廃車する。

一色の詰所を移転新築する。(鉄骨2階建、延べ面積117.75 m²) 第18回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第26回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

消防ポンプ自動車 (日野 KK-XZU371M 改) A-2 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車 (三菱 U-FG337C 改) を廃車する。

湘南国際村内消火栓8基(上山口5基、下山口3基)葉山町に帰属する。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

# 平成14年(2002)

第9代消防団長 伊東正悦 就任

第19回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第27回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第43回神奈川県消防操法大会に第3分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

#### 平成 15 年 (2003)

第10代消防団長 石井建一 就任

堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨2階建、延べ面積113.96 ㎡) 第20回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改)A-2 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞU-FRR32DBV 改)を廃車する。

消防ポンプ自動車 (三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を購入し、一色 に配置する。

一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改 BD- I 型)を 廃車する。

防災資機材搬送車 (ニッサン LC-VPE25) 1 台を購入し、消防本部 に配置する。

消防本部に配置の防災車(トヨタ U-LH119V 改)を廃車する。 消防職員 定員 47名 実員 46名

# 平成 16 年 (2004)

第9代消防長 石屋 博 就任

葉山町消防団 OB 会発足。

第21回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第29回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

第44回神奈川県消防操法大会に第4分団出場する。

高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改)1 台購入し、消防本部 に配置する。

消防本部に配置の高規格救急自動車(トヨタ Z-UZH132S)をパラオ共和国に贈与する。

消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改)A-2級1台を購入し、 木古庭に配置する。

木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞU-FRR32DBV 改)を廃車する。

2 交替勤務から3 交替勤務に移行する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

#### 平成 17 年 (2005)

第22回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第30回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

消防ポンプ自動車(日野 PD-XZU304E 改) A-2級1台を購入し、上山口に配置する。

上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改)を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成 18 年 (2006)

第23回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第31回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん第2位入賞)

第45回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成 19 年 (2007)

第10代消防長 坂本光俊 就任

積載車 (ニッサン GBD-U72TP) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 V-U42V 改)を廃車する。

第24回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第32回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

(出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出)

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

# 平成 20 年 (2008)

第25回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第33回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

第37回消防救助技術関東地区指導会に出場する。

(出場種目 基本泳法)

第46回神奈川県消防操法大会に第6分団出場する。

消防ポンプ自動車(日野 BDG-XZU304E) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) を廃車する。

小型動力ポンプ積載車(スバル EBD-TT2)1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) を廃車する。

下山口に防火水槽(40 m)を設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成 21 年 (2009)

第 11 代消防長 有馬 弘 就任

第11代消防団長 石井定裕 就任

第26回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第34回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル HA-3000D) を整備し、運用を開始する。

高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署

に配置する。

消防署に配置の高規格救急自動車(トヨタ GE-VCH32S)を廃車する。

消防ポンプ自動車 (日野 BDG-XZU304E) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン Z-FGY60 改)を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成 22 年 (2010)

第27回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第35回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第47回神奈川県消防操法大会に第1分団出場する。

消防無線更新。携带2基5W

水難救助艇(アキレス SG-140) 1 艘を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車(ダイハツ EBD-S331W) 1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を廃車する。

消防ポンプ自動車(日野 BDG-XZU304E)A-2級1台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン Z-FGY60 改)を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成23年(2011)

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊2隊を派遣する。(第1次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第2次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣)

機動車 (ニッサン DBA-NT31) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車 (三菱 E-CD5W 改) を廃車する。

機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

#### 平成 24 年 (2012)

第29回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第37回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第48回神奈川県消防操法大会に第2分団出場する。

(ポンプ車操法の部 第3位優秀賞)

救助工作車(日野 SDG-GX7 JGAA 改)1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救助工作車(ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改)を廃車する。

#### 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

#### 平成 25 年 (2013)

第12代消防長 小山正彦 就任

第 12 代消防団長 沼田慎一 就任

第13代消防長 髙梨 勝 就任

第30回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第38回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

資機材搬送車(いすゞTDG-NMS85AN)1 台を購入し、消防署に配置する。

総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD-S331W) 1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を 廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

# 平成26年(2014)

第31回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第39回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第49回神奈川県消防操法大会に第3分団出場する。

高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改)を廃車する。

横須賀市・三浦市・葉山町、2市1町による消防通信指令事務の 共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協 議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成25年4月 より運用開始。)

消防職員 定員48名 実員48名

#### 平成 27 年 (2015)

横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。

消防救急デジタル無線(活動波・統制波・主運用波)運用開始。 予防係を予防課へ変更する。

第32回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第40回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

CAFS付消防ポンプ自動車(モリタ TKG-XZU640M)A-2級1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改)A-2 級を廃車する。

一色に消火栓1基、長柄に消火栓1基、堀内に防火水槽(40 m³) 1基を設置する。

小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 3 台を購入し、木古庭、一色、長柄に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級を廃棄する。

一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級を廃棄する。

長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級を廃棄する。

消防職員 定員49名 実員49名

# 平成28年(2016)

第14代消防長 福本昌己 就任

第33回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)

第41回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第50回神奈川県消防操法大会に第4分団出場する。

下山口に消火栓2基、長柄に消火栓2基を設置する。

小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級を廃棄する。

資機材搬送車(ニッサン EBD-DR16T)1 台を購入し、下山口に配置する。

消防職員 定員52名 実員49名

# 平成 29 年 (2017)

長柄の詰所を移転新築する。(鉄骨1階建、延べ面積122.42 m<sup>2</sup>) 第34回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ 渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出)

第42回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出)

資機材搬送車 (ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、木古庭に配置する。

消防職員 定員52名 実員54名

#### 平成 30 年 (2018)

第 15 代消防長 小峰 守 就任

第35回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出)

第43回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登は

ん、ほふく救出)

第51回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。

木古庭に消火栓1基、上山口に消火栓1基、一色に消火栓1基を 設置する。

高規格救急自動車 (ニッサン CBF-CS8E26 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。

資機材搬送車(ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、長柄に配置する。

消防職員 定員55名 実員55名

#### 令和元年 (2019)

第13代消防団長 石井栄蔵 就任

第36回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)

第44回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)

総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ LDF-KDY231 改)1台の無償貸与を受け、一色に配置する。

消防職員 定員55名 実員54名

#### 令和2年 (2020)

木古庭に消火栓1基を設置する。 消防職員 定員55名 実員54名

#### 令和3年 (2021)

第14代消防団長 佐藤 孝 就任

下山口に消火栓1基を設置する。

消防ポンプ自動車 (モリタ 2KG-XZU685M) 1 台を購入し、消防署 に配置する。

消防ポンプ自動車 (日野 KK-XZU371M 改) A-2 級 1 台を廃車する。 一色に配置していた消防ポンプ自動車 (三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を廃車する。

静岡県熱海市の土石流災害発生に伴い、緊急消防援助隊を派遣する。(第3次派遣 消火隊1隊、第4次派遣 消火隊1隊)

消防職員 定員55名 実員54名

#### 令和4年 (2022)

第 16 代消防長 伊藤義紀 就任消防職員 定員 55 名 実員 54 名

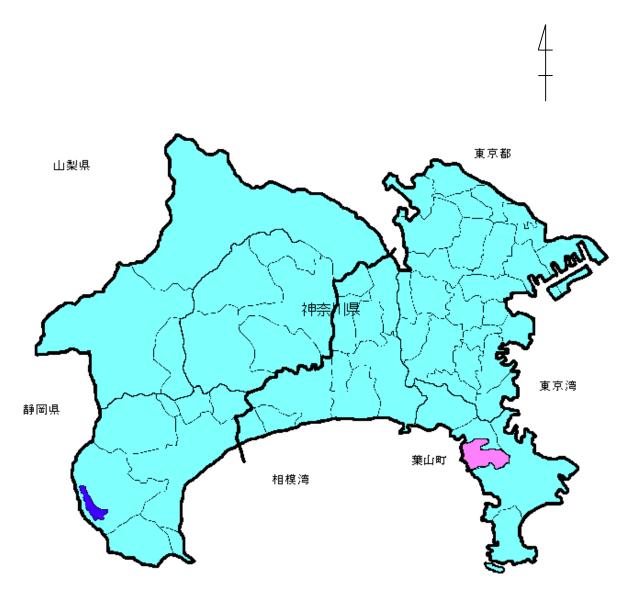
町勢



一色海岸の夕日

#### 位置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東 と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m圏にある。



葉山町役場の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地 位 置 北緯 35°16′08″東経 139°35′24″ 町 制 施 行 大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

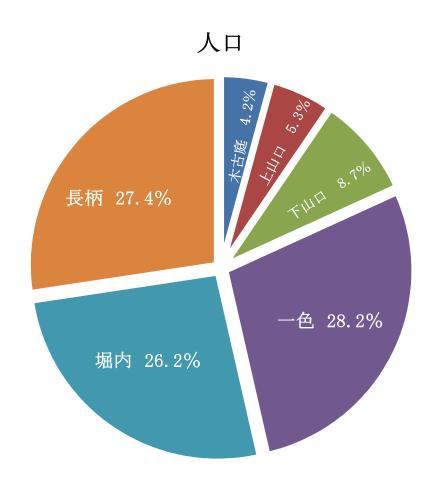
令和4.4.1現在

面積	人	П		世帯数
17 04 lr m²	22 206 /	男	15,531人	14,650世帯
17. 04 k m²	32,806人	女	17,275人	14,050 匹帝

### 地区別情勢

令和4.4.1現在

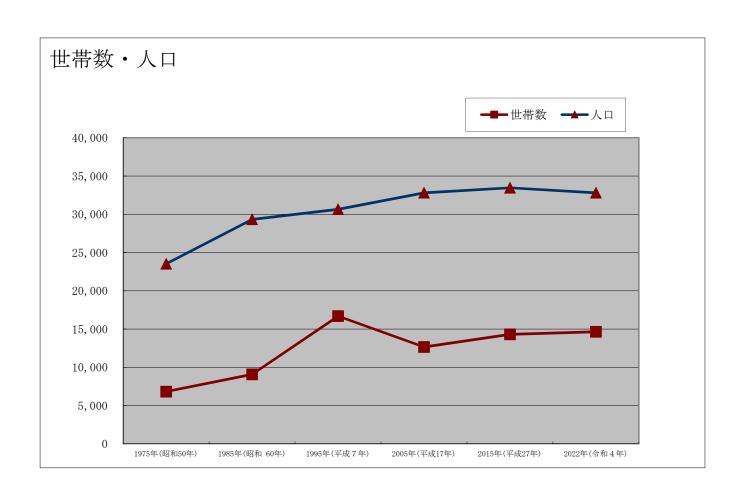
	Σ	区分		人口		世帯数
			男	女	合計	(世帯)
地	区		(人)	(人)	(人)	
木	古	庭	666	722	1, 388	654
上	Щ	П	843	890	1, 733	821
下	Щ	П	1, 371	1, 475	2, 846	1, 253
_		色	4, 360	4, 903	9, 263	4, 048
堀		内	4,022	4, 572	8, 594	3, 905
長		柄	4, 269	4, 713	8, 982	3, 969
合		計	15, 531	17, 275	32, 806	14, 650



### 人口の推移

令和4.4.1現在

区分	世		人口		1 k m²	あたり
	帯	男	女	合計	世帯数	人口
年	数 (世帯)	(人)	(人)	(人)	(世帯)	(人)
1975年(昭和50年)	6, 821	11, 413	12, 107	23, 520	400	1, 380
1985年(昭和 60年)	9, 066	14, 199	15, 125	29, 324	532	1, 721
1995年(平成7年)	16, 688	14, 688	15, 947	30, 635	979	1, 798
2005年(平成17年)	12, 647	15, 619	17, 182	32, 801	742	1, 925
2015年(平成27年)	14, 299	15, 836	17, 619	33, 455	839	1, 963
2022年(令和4年)	14, 650	15, 531	17, 275	32, 806	860	1,925



# 消防情勢



葉山町消防本部庁舎

#### 消防本部・署・団設置

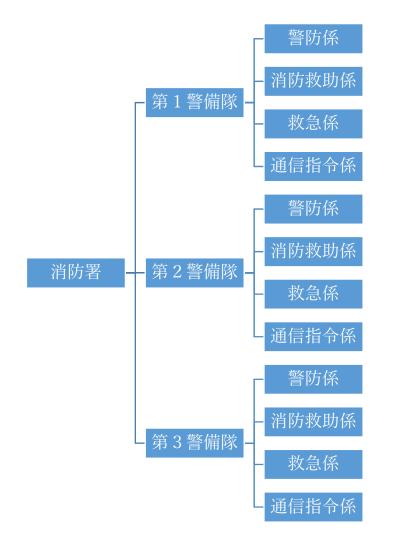
消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日 消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日 消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

消防本部・消防署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10 位 置 北緯 35°27′12″ 東経 139°58′50″ 消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10 位 置 北緯 35°27′12″ 東経 139°58′50″

#### 消防本部機構図



#### 消防署機構図



#### 消防本部事務分掌

#### 消防総務課

#### 庶 務 係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。
- (21) 指令業務の共同運用に関すること。

#### 予防課

#### 予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導(警防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (8) 危険物施設の検査及び指導に関すること。
- (9) 液化石油ガス等に関すること。
- (10) 危険物取扱者に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。

- (12) 火災予防の総括(警防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (13) 開発行為等の指導(警防係で扱うものを除く。) に関すること。
- (14) 火災の原因及び損害の調査(消防救助係で扱うものを除く。)に関すること。

#### 消防署事務分掌

#### 警 防 係

- (1) 火災に係るり災証明に関すること。
- (2) 搬送証明に関すること。
- (3) 各種催事に係る警備の企画及び調整に関すること。
- (4) 消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (5) 屋外の火災予防の総括に関すること。
- (6) 葉山町火災予防条例に基づく届出(予防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (7) 開発行為の指導(予防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (8) 消防地理及び消防水利の総括に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (10) 消防力整備計画に関すること。
- (11) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (12) 消防警防計画に関すること。
- (13) 消防相互応援協定等に関すること。
- (14) 緊急消防援助隊に関すること。
- (15) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (16) 消防現勢及び消防年報に関すること。
- (17) 消防の総括統計に関すること。
- (18) 関係機関等合同訓練の企画及び調整に関すること。

#### 消防救助係

- (1) 消防活動及び調査に関すること。
- (2) 救助活動に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 屋外の火災予防の踏査及び指導に関すること。
- (5) 消防地理及び消防水利の踏査に関すること。
- (6) 各種催事に係る警備の実施に関すること。
- (7) 消防救助活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (8) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (10) 消防本部との調整に関すること。
- (11) 街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。

#### 救 急 係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 応急手当の啓発活動に関すること。
- (3) 救急活動に係る訓練の運用に関すること。
- (4) 救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (5) 応急手当の普及の総合調整に関すること。
- (6) 救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (7) 救急関連機関との調整に関すること。
- (8) 救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 救急統計に関すること。

#### 通信指令係

- (1) 消防に係る気象観測に関すること。
- (2) 災害通報の受信及び指令に関すること。
- (3) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (4) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (5) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (6) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (7) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (8) 火災警報等に関すること。

### 消防本部・署・団情勢調

人口 32,806 人

世帯数 14,650 世帯

面積 17.04 Km²

令和4.4.1現在

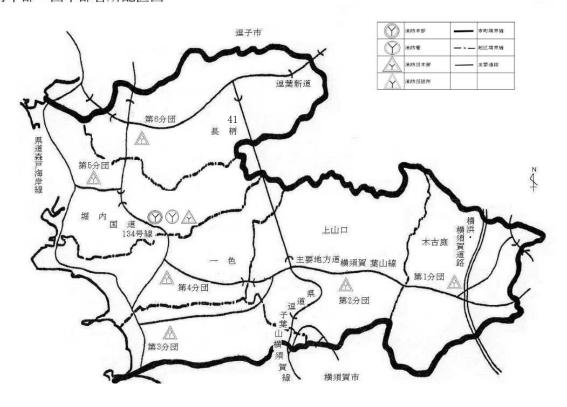
	種別	消	防	本	部	•	署	消		ß	方		ব
区分		消	防 吏	員	消防力	ポンプ	自動車	消	防団	員	消防ス	ポンプ	自動車
現	況		54人			2台			155人			6台	
細	別	消防す	<b>三員1人</b> を	あたり	消防	車1台あ	たり	消防回	到員1人	あたり	消防	車1台あ	たり
区	分	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数(世帯)	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数(世帯)	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数(世帯)	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数(世帯)
平	均 値	0.3	608	271	8. 5	16, 403	7, 325	0. 1	212	95	2.8	5, 468	2, 442

### 消防本部・署・団車両等

令和4.4.1現在

種別			
	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
車両			
指揮車	1台		1台
消防ポンプ自動車	2台	6台	8台
救 助 工 作 車	1台		1台
機動積載車	1台		1台
小型動力ポンプ付 積 載 車		3台	3台
小型動力ポンプ	1台	3台	4台
高規格救急自動車	3台		3台
機動車	1台		1台
資 材 搬 送 車	2台	3台	5台
二輪車	2台		2台

消防本部·団本部署所配置図



# 庶 務 関 係



神奈川県消防学校初任教育生入校式

### 消防予算額

令和4年度

	款			項		目	金額(千円)	比率 (%)
						常備消防費	495, 022	76. 2%
消	防	費	消	防	費	非常備消防費	33, 090	5. 1%
1月	ŀλ	其	们	(A)	其	消防施設費	121, 734	18.7%
						合 計	649, 846	100%

### 町予算と消防予算の比

(単位:千円)

区生	分		年	.度	令和4年度	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度
町	総	予	算	額	11, 310, 000	102, 366, 000	10, 345, 000
消	防	予	算	額	649, 846	619, 551	642, 576
比	率	(	%	)	5. 7	0.6	6. 2

### 消防費と人口・世帯の比

人 口 32,806人 世帯数 14,650世帯

令和4年度

		予	算額(1	-円)		1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
消	防	費	予	算	649, 846	44, 358	19, 809
常	備	消	防	費	495, 022	33, 790	15, 089
非	常	備 消	防	費	33, 090	2, 259	1,009
消	防	施	設	費	121, 734	8, 309	3, 711
町	総	-	予	算	11, 310, 000	772, 014	344, 754

### 消防職員定員・実員

令和4.4.1現在

区分			階級	消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
定			員								55
実			員	1	6	10	11	19	6	1	54
再	任	用	者								

### 消防職員年齢

令和4.4.1現在

			階級	消 防 司	消 防 司	消 防 司	消 防 士	消 防 副	消防	事務	合
年齢				令 長	中令	令 補	長	士 長	士	吏員	計
18	~		20						1		1
21	~		25					3	5		8
26	$\sim$		30					9			9
31	~		35				8	7		1	16
36	$\sim$		40				2				2
41	~		45			1	1				2
46	~		50			6					6
51	~		55		4	3					7
56	~		60	1	2						3
60	歳	以	上								
合			計	1	6	10	11	19	6	1	54
平	均	年	齢	58	53	48	35	29	24	32	36

### 消防職員勤続年数

令和4.4.1現在

階級	消防	消	消 防	消	消 防	消	事	合
	司	防司	司	防士	副	防	務 吏	
勤続年数	令 長	令	令 補	長	士 長	士	異員	計
1 年 未 満		14	1113			3		3
1年以上5年未満					2	3	1	6
5年以上10年未満					10			10
10年以上15年未満				5	7			12
15年以上20年未満				6				6
20年以上25年未満			1					1
25年以上30年未満			5					5
30年以上35年未満		1	4					5
35年以上40年未満	1	4						5
40 年 以 上		1						1
合 計	1	6	10	11	19	6	1	54

### 教育実施状況

令和3年度

教育種別	期間	人員	教育場所
初任教育(第217期)	R3/4/7 ~ R3/9/30	2	神奈川県消防学校
專科教育 (救急科)	R3/10/25 ~ R3/12/24	1	神奈川県消防学校
専科教育 (救助科)	R3/10/13 ~ R3/11/10	1	神奈川県消防学校
専科教育 幹部科 (第68期)	R4/1/6 ~ R4/2/24	1	消防大学校

### 特殊技能資格者

令和4.4.1現在

		沈	消	沵	冰	沵	次元	事	合
	階級	消防		消 防	消	消 防	消		
	_	司	防	司	防	副	防	務	
資格		令	司	令	士	士	124	吏	
其作		令 長	令	補	長	長	士	員	計
	大 型 特 殊			1					1
	大型			4	1	6			11
h #1 # #	中型			3	9	4			16
自動車運転	中型 (8t限定)	1	6	3					10
	準中型 (5t限定)					8	2	1	11
	普通					1	2		3
₽ 12c Hm	乙 種 4 類		2	9	10	19	5		45
危険物	丙種		4	3					7
	防 火 査 察		1		1	2			4
予 防 技 術 者	消防用設備等		1		2	1			4
	危 険 物		1		1	2			4
	甲 種 1 類				1				1
	甲 種 2 類				1				1
	甲 種 3 類				1				1
消防設備士	甲 種 4 類				1	1			2
	甲 種 5 類				1				1
	乙 種 6 類				2	2			4
	乙 種 7 類				1				1
消防設備	点検資格第1種		1	1	1	1			4
点 検 資 格 者	点検資格第2種		1	2	1	1			5
可搬消防ポンプ	プ 等 整 備 資 格 者			1	2				3
第1、2、3級陸	上特殊無線技士		6	10	10	21	3		50
ガス溶	接技能者		5	5		1			11
小型クレ、	ー ン 技 能 者			5	11	8			24
玉掛	技能者			5	11	8			24
1 級 小 型 舶	品 操 縦 士		1	1					2
2 級 小 型 舶	品 操 縦 士		3	4	4	5			16
第二種酸素欠乏	危険作業主任者			2	1				3
特定化学物質	等 作 業 主 任 者			1					1
特定化学物質及び四ア	ルキル鉛等作業主任者			1	1	2			4
毒物劇物	取 扱 責 任 者					1			1
応 急 手	当 指 導 員		5	10	11	19	2		47
救急	救 命 士		2	7	3	5	2		19
アマチュ	ア無線技士		1	2					3

# 警 防 関 係



各種消防車両

### 火災概況

令和3年中

火	災件	数	2件	
火	建物火	災	1件	内訳(全焼1件)
	林 野 火	災		
災	車 両 火	災		
種	船 舶 火	災		
Tri I	航空機火	災		
別	その他の火	災	1件	
焼	損 面	積	300 m²	
損	害 見 積	額	99,831千円	
罹	災世帯	数		
死	傷者	数		

### 出火原因別火災発生状況

令和3年中

区分	J. ((( 4 <del>4</del> FF))		出火原因	
件数	火災種別	発火源	経過	着火物
1	建物火災	不明	不明	不明
2	その他の火災	不明	放火の疑い	~\\\

#### 火災発生状況

令和3年中

	区分			火	災種	憅			死化	傷者											火災							林	そ		損	害見和	責額	
\	\					수수	7.			4			炒	克損	棟数	汝			罹災	と世書	帯数	罹		焼	損面	積		野	の	建	物		7.	
		建	林	車	船	航	~	合	死	貝		火テ	亡棟			延灼	类数							M/	部	3.70	^	焼	他焼	建	収	車	そ	合
					4.1	空	の	~.	-4	傷	全	半	部	ぼ	中	半	部	ぼ	至	#	小	人	全	半	分	ぼ	合	損	損	建	容	_	の	-31
		柳	野	両	州日	空機	他	計	者	者	焼	焼	分焼	や	焼	焼	分焼	Þ	損	損	損	員	焼	焼	焼	や	計	面積	面積	物	物	両	他	計
-	月 1	1						1			1		// -				,,,,						300				300			97, 045	2, 741			99, 786
<b> </b>	2	_						Ė			_												000							,	_,			00,100
	3																																	
	4																																	
	5																																	
	6																																	
	7																																	
	8																																	
	9						1	1																									45	45
	10																																	
<u>_</u>	11																																	
L	12 合計					<u> </u>		L																										
I	台計	1	741	7.1	7-1	7-1	1	2		١.	1	144	144	144	144	144	144	144					300	2	,	,	300	2		97, 045			45	99, 831
	(単位)	件	件	件	件	件	件	旧牛	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	世帯	人	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m	千円	十円	十円	十円	十円

	_																															出火率 (件)
	平成2	28年	6		1			7	2	1	2	1	3	1	2	3	6	6 3	37	385	63	11	1	460			59, 870	7, 487	476		67, 833	2. 1
過士	平成2	29年	5		1		4	10	1	3	1	2	2			2	1	6 1	15	137		72		209		73	15, 494	630	630		16, 754	3. 0
五	平成:	30年	2	1	2		1	6					2					2 .	4						99			1	124	165	290	1.8
年	令和:	元年	2		1		3	6	2		1		1				1	1	6	101				101		7.59	22, 975	20, 620	26	337	43,621	0.6
	令 和	2年	3		1			4		1		1	2					2				4		4			180	2	337		519	1.2

### 火災覚知方法時間別状況

令和3年中

		覚知			+	.2.	N///	7	^
			<u> </u>	加 入	事 後	かけ	巡 回 中	その	合
			九 番	電 話	聞 知	つけ	回 中 発 見	他	<del>≅ </del>
時間									
0	~	1							
1	~	2							
2	~	3							
3	$\sim$	4							
4	~	5							
5	$\sim$	6							
6	~	7							
7	~	8							
8	~	9							
9	~	10							
10	~	11			1				1
11	~	12							
12	~	13							
13	~	14	1						1
14	~	15							
15	~	16							
16	~	17							
17	$\sim$	18							
18	~	19							
19	~	20							
20	$\sim$	21							
21	~	22							
22	$\sim$	23							
23	~	24							
合		計	1		1				2

### 地区別火災発生状況

令和3年中

	1.16 1									
	地区		単	木	上	下	_	堀	長	合
				古	Щ	Щ				
区分	ý)		位	庭	П	П	色	内	柄	計
出	火 件	数	件				1	1		2
	建	物	件				1			1
	林	野	件							
内	車	両	件							
訳	船	舶	件							
	航 空	機	件							
	その	他	件					1		1
焼	損 棟	数	棟				1			1
	全	焼	棟				1			1
内	半	焼	棟							
訳	部 分	焼	棟							
	ぼ	Þ	棟							
建物	焼 損 面	積	m²				300			300
林 野	焼 損 面	積	m²							
その	他焼損面	積	m²							
罹災	<b>、世帯</b>	数	世帯							
	全	損	世帯							
内 訳	半	損	世帯							
	小	損	世帯							
罹	災人	員	人							
火災	、 損 害	額	千円				99, 786	45		99, 831
	建	物	千円				99, 786			99, 786
	林	野	千円							
内	車	両	千円							
訳	船	舶	千円							
	航 空	機	千円							
	その	他	千円					45		45

### 時間別火災発生状況

令和3年中

	×	分		建	物			建以	建面	林面	そ焼	損見
n+ 88			全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	外の火災物の火災	物焼損積	野焼 損積	損の面積の積	積 害額
時間				,,_	NE				(m²)	(m²)	(m²)	(千円)
0	~	2										
2	~	3										
3	~	4										
4	~	5										
5	~	6										
6	$\sim$	7										
7	~	8										
8	~	9										
9	~	10										
10	~	11						1				45
11	$\sim$	12										
12	~	13										
13	~	14	1				1		300			99, 786
14	~	15										
15	~	16										
16	~	17										
17	~	18										
18	~	19										
19	$\sim$	20										
20	~	21										
21	~	22										
22	~	23										
23	~	24										
不		明										
合		計	1				1	1	300			99, 831

### 消防署の消防車両等の出場状況

令和3年中

														3 年中
	Л	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
出	場													
τ.	件数	1	1										1	3
火災	出場台数	12	3										4	19
	出場人員	46	8										12	66
	件数	2	1	3		2	1	6	2	4	5		3	29
救 助	出場台数	15	5	9		8	5	19	6	13	24		12	116
	出場人員	54	13	26		21	19	54	18	32	58		34	329
危	件数	2	1	1	1			1	4	1	1	1	2	15
危険排除	出場台数	5	3	2	2			2	10	2	2	1	5	34
除	出場人員	14	9	6	7			8	25	5	6	2	14	96
	件数	2		3	2	1	2	2	6	4		1	2	25
偵 察	出場台数	3		5	4	2	4	4	8	8		3	4	45
	出場人員	8		18	9	6	9	11	23	19		8	9	120
	件数													
そのか	出場台数													
他	出場人員													
	件数	1	1			1			1	1				5
調査	出場台数	1	2			2			2	2				9
	出場人員	4	4			5			6	5				24
Р	件数	14	8	13	6	5	6	6	12	11	10	5	9	105
A 連 携	出場台数	28	16	26	11	10	12	10	23	21	18	11	16	202
携	出場人員	70	40	65	27	25	31	24	57	52	44	29	39	503
	件数	22	12	20	9	9	9	15	25	21	16	7	17	182
合計	出場台数	64	29	42	17	22	21	35	49	46	44	15	41	425
H 1	出場人員	196	74	115	43	57	59	97	129	113	108	39	108	1, 138
<b></b>	ひょうがみ 出 出 担 ノァ キ	- ナル		· 沙出 [十: /	(E) +									1

※火災及び救助出場にあっては、他市消防(局)本部、消防団員及び消防団車両を含みます。

#### 令和3年中出場件数

#### 1 火災出場

種別 区分	建物	勿火災	車両火災	林野火災	その他火災	合	計
令和2年中	1	3	1		1	5	
令和3年中	1	2			2	4	
比 剪	<b>交</b>	△ 1	$\triangle$ 1		1	△ 1	

#### 2 救助出場

	種別	火災	交通事故	水難事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	機械によ る事故	その他	合 計
令和2	年中	3	3	2	14			4	26
令和3	年中	1	1	13	5	1	1	7	29
比	較	△ 2	$\triangle$ 2	11	△ 9	1	1	3	3

#### 3 その他の出場

		1 1 77 4					
	種別	その化	也災害	救急	支援	調査	合 計
区分	}	危険排除	偵 察	特定救急	救命救急	测11.	台 計
令和	2年中	4	20	34	84	3	145
令和	3年中	15	25	31	74	5	150
比	較	11	5	△ 3	△ 10	2	5

#### 4 救急出場

	~///															
種別 区分	急症	一角 有	般負 傷	交通 事故	移送	自損 行為	加害	運動 競技	労災 事故	火災 事故	自然 災害	水難 事故	医師 搬送	資材 搬送	そ 他	合計
令和2年5	∮ 963	2	89	73	109	9	6	5	11	4		5			1	1, 475
令和3年	1,06	3 3	27	79	91	5	2	5	20	1	1	14				1,608
比 輔	文 100	3	38	6	△ 18	$\triangle$ 4	$\triangle$ 4	0	9	$\triangle$ 3	1	9			△ 1	133

#### 5 応援状況

#### (1) 火災救助等受援件数

	市	逗子市	†から葉	自山町	横須賀	市から	葉山町	横浜下	<b>打から</b> す	<b></b> 削町	川崎市	†から∮	<b></b> 削町	۸≇۱
	区分	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	合計
ŕ	令和2年中				1									1
ŕ	令和3年中				1	1			1			1		4
Ŀ	七 較				0	1			1			1		3

#### (2) 火災救助等応援件数

( 1 / / / / / / / /	-24 11 VI 15	7 7 76 15 11 35									
市	葉山町	丁から逗	三子市	葉山町	から横	須賀市	合計				
区分	火災	救助	その他	火災	救助	その他					
令和2年中				2			2				
令和3年中		1					1				
比 較		1		$\triangle$ 2			$\triangle$ 1				

#### ※7月の静岡県熱海市への緊急消防援助隊の出場は含まれていません。

#### (3) 救急受援件数

市区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	合計
令和2年中	15	13	28
令和3年中	11	16	27
比 較	$\triangle$ 4	3	$\triangle$ 1

#### (4) 救急応援件数

( - / 0 + 0 - 0			
市区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市	合計
令和2年中	4		4
令和3年中	7		7
比 較	3		3

過去5年間の山中救助件数

発生年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
発生件数	6	2	2	3	5
うち ヘリ救助件数		1	1		1
日中件数	5	2	2	3	2
夜間件数	1				3
救助人員	6	5	2	3	5
救急搬送者数	1	1	1	2	

### 年別所要時間別山中救助(覚知 ~ 救出完了)件数

所要時間		発生年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	$\sim$	30分					
30分	$\sim$	1時間	3		1		
1時間	~	1 時間30分	2			1	1
1 時間30分	~	2時間					3
2時間	~	2 時間30分		2		1	1
2 時間30分	~	3時間					
3時間	~	3 時間30分			1		
3 時間30分	~	4時間	1				
4時間	~	4 時間30分				1	
4 時間30分	~	5時間					
5 時間	~	5 時間30分					
5 時間30分	$\sim$	6時間					
6 時間	~	6 時間30分					
6 時間30分	~	7時間					
合		計	6	2	2	3	5

令和4.4.1現在

	車両	登録		原	動機ポン	プ		無線
用途	会社名	年月日	エンジン	気筒容積	ポンプ	ポンプ	ポンプ	呼出名称
			社名	(CC)	社名	型式	級別	
消防ポンプ 自 動 車	日野	平成27年 12月7日	日野	4,000	モリタ	1段 ボリュー ト式	A-2	はやましき ぽんぷ 1
消防ポンプ 自 動 車	日野	令和3年 12月17日	日野	4,000	モリタ	1段 ボリュー ト式	A-2	はやま ぽんぷ2
救助工作車	日野	平成25年 2月4日	日野	6, 400				はやま きゅうじょ 1
機動積載車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま きどう 1
救急自動車	ニッサン	平成30年 12月18日	ニッサン	2, 480				きゅう きゅう はやま 1
救急自動車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2, 690				きゅう きゅう はやま 2
非 常 用 救急自動車	トヨタ	平成21年 9月15日	トヨタ	2, 690				
機動車	ニッサン	平成23年 6月15日	ニッサン	1, 990				はやま きどう 2
指 揮 車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1, 990				はやま しき 1
資機材搬送車	いすゞ	平成25年 8月21日	いすゞ	2, 990				はやま しざい1
資 材 車	ニッサン	平成26年 7月30日	ニッサン	650				はやま しざい 2
二 輪 車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二 輪 車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
小型動力 ポンプ		平成28年 3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C – 1	

### 警防用機器資材

令和4.4.1現在

用途				一般排	效助用				重量物排除用				
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤー はしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	平担架	マンホー ル救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具 (スプレッダー )	救助用油圧ジャッキ	
数量	3	4	2	1	1	8	2	3			1	2	

用途	重	量物排除	≷用		E へ								
名称	可搬式ウィンチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具 (カッター )	アー	ンジン	動 力	酸素溶断機	エー	力			
数 量	6	1		1	1	5	1		7	10			

用途			測定用			破場	喪用	呼吸保護用				
名称	復合ガス検知器(酸素濃度測定器含む)	放射能測定器 ( ポケット含む )	有毒ガス測定器	ポッケッタブルマルチガスモニター	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数量	3	20	1			1	2	16			22	

用途						隊員係	呆護用				
名称	<b>送排風機一</b> 式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服(簡易防護服含む)	防毒衣	
数量	1	15	2	2	2		5	2	39		

用途		水難救助用				画像探索機				その他			
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアーテント	画像伝送装置一式	
数量		45	1	1	1			1			2		

### 消防水利現勢

令和4.4.1 現在

地区			木	上	下	_	堀	長	合
				Щ	山				
種別			庭	口	П	色	内	柄	計
公設消防水利	消 火 栓	公 設 消 火 栓	29	59	40	121	112	86	447
	防火水槽	20 m 以 上 40 m 未 満			1	6	4	2	13
		40 m 以 上 100 m 未 満	1	14	6	12	16	15	64
		防火水槽小計	1	14	7	18	20	17	77
	消 火 栓	火 私設消火栓			1	1		1	3
		20 m³ 以 上 40 m³ 未 満	1	4	3	8	9	1	26
指	防 火	40 m³ 以 上 100 m³ 未 満	2	9	4	21	18	2	56
指定消防水	防火水槽	100 ㎡ 以 上	2	1				1	4
利		防火水槽小計	5	14	7	29	27	4	86
	そ の 他	プ ー ル 等		1		1	3	2	7
		その他小計		1		1	3	2	7
合 計				88	55	170	162	110	620

#### 空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

令和3年度

				ア和3千度
地区		調査対象	繁茂 (未刈取り)	繁茂なし (刈取り・該当なし)
	第1管理状況調査	5	2	3
木古庭	第2管理状況調査	2		2
<b>小</b> 白庭	第3管理状況調査			
	最終管理状況調査			
	第1管理状況調査	10	4	6
上山口	第2管理状況調査	4	3	1
⊥µн	第3管理状況調査	3	2	1
	最終管理状況調査	2	1	1
	第1管理状況調査	6	4	2
下山口	第2管理状況調査	4	3	1
ГНН	第3管理状況調査	3	1	2
	最終管理状況調査	1	1	
	第1管理状況調査	10	5	5
一色	第2管理状況調査	5	4	1
	第3管理状況調査	4	1	3
	最終管理状況調査	1	1	
	第1管理状況調査	16	10	6
堀内	第2管理状況調査	10	6	4
が出とり	第3管理状況調査	6	3	3
	最終管理状況調査	3	3	
	第1管理状況調査	19	10	9
長柄	第2管理状況調査	10	5	5
JX 1173	第3管理状況調査	5	3	2
	最終管理状況調査	3	2	1
	第1管理状況調査	66	35	31
合計	第2管理状況調査	35	21	14
口 戸	第3管理状況調査	21	10	11
	最終管理状況調査	10	8	2

#### 過去3年間の枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り・該当なし)
令和2年度	第1回管理状況調査	66	32	34
7 和 2 十 及	最終管理状況調査	8	7	1
令和元年度	第1回管理状況調査	73	40	33
节和几千度	最終管理状況調査	13	12	1
平成30年度	第1回管理状況調査	77	43	34
十成30千度	最終管理状況調査	13	12	1

注)調査対象は次の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

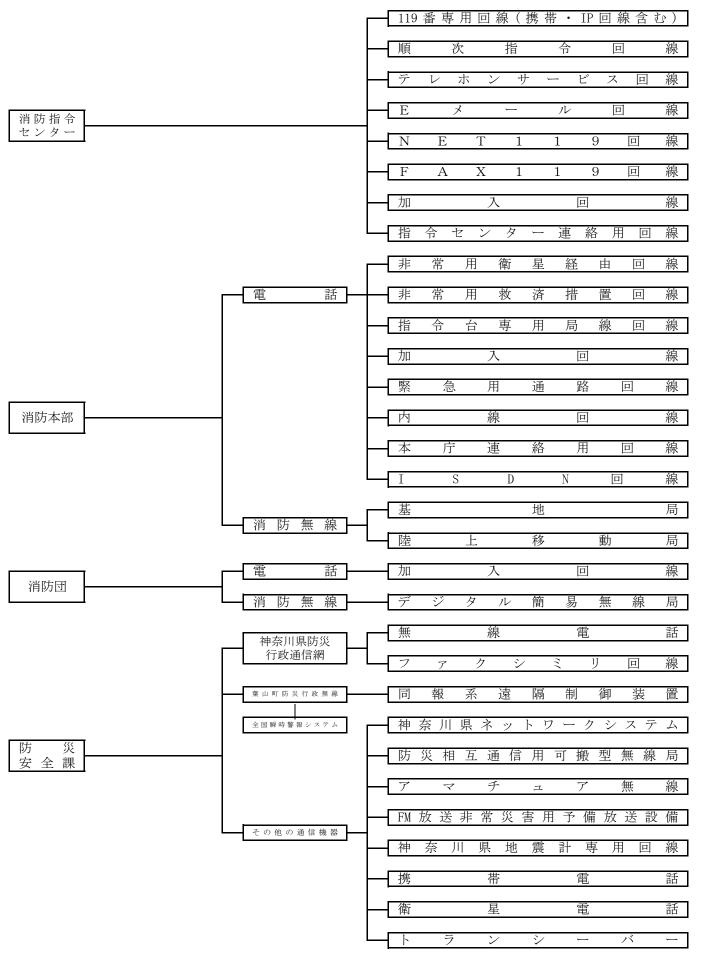
- 1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチメートル以上である場合。
- 2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチメートル以上である場合。
- 3. その他、特に火災予防上危険である場合。

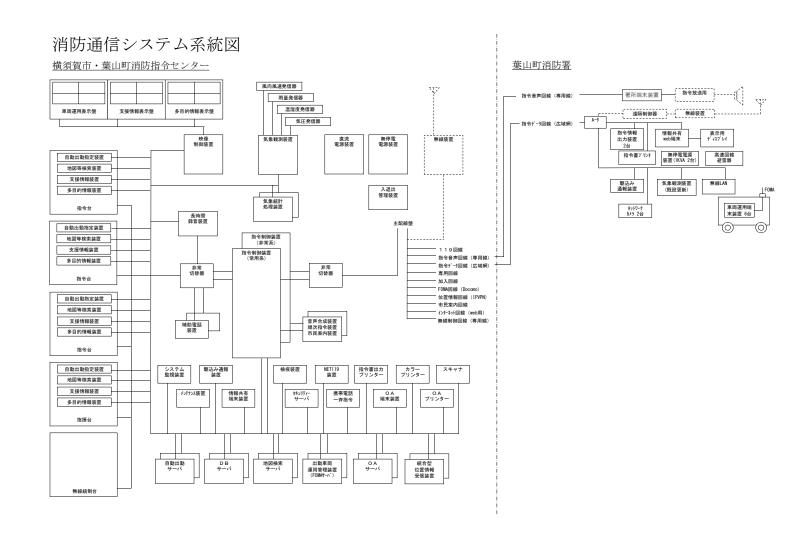
# 指令関係



横須賀市・葉山町消防指令センター

#### 町の通信施設





# 消防指令センター・消防本部・消防署回線

令和4.4.1現在

	種別	数量
消	119番専用回線(携帯・IP回線含む)	18
防	順次指令回線	8
指	テレホンサービス回線	10
令	Eメール回線	1
セ	NET119回線	1
ン	FAX119回線	1
タ	加入回線	1
Ì	指令センター連絡用回線	1
	非常用衛星経由回線	1
消	非常用救済措置回線	2
防	指令台専用局線回線	2
本	緊急用通路回線(着信専用)	1
部	I S D N回線(県所有1回線含む)	2
	電話交換装置	1
消	主配線盤(M D F)	1
防	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6
署	内線回線	66
	本庁(役場)連絡用回線	6

# 消防指令センター・消防本部・消防署通信機器

1 指令情報施設(消防指令センター)

令和4.4.1現在

名	, 1	陈	数量	量	名	Š						Ħ	际	数	量
	指	台	6	台		車	両	ĭ	重	用	表	示	盤	4	面
	自動出動サー	バ	1	台		支	援	\f	青	報	表	示	盤	4	面
	データベースサー	バ	1	台	表示	映	售	象	制	衜	即	P	С	1	台
	自動データメンテナンス装	置	1	台	盤		目	的	情	報	表	示	盤	4	面
	表示盤接続用端末装	置	3	台		シ	ス	テ	ム	制	御	装	置	1	台
	事 案 管 制 装	置	3	台		映	像 撰	作	タッ	・チ	パネ	ドル P	С	1	台
	多 目 的 情 報 表 示 装	置	3	台	駆	込	通	報当	支 置	受	付	用 P	С	1	台
指	自動出動指定装	置	3	小	駆	込	通対	设 装	置	受付	寸 用	電 話	機	1	台
令装	地図検索サー	バ	2	台	気	象	デ		タ	奴	L 理	装	置	2	台
置	地図データメンテナンス装	養置	1	台	順		次	ŧ	占 日	令		装	置	1	台
	地 図 検 索 装	置	3	台	音		声	É	<u>}</u>	成		装	置	1	台
	長 時 間 録 音 装	置	1	台	シ	7	۲ ۶	テ	ム	監	視	装	置	1	台
	非 常 用 指 令 設	備	1	式	無	,	停	電	電		源	装	置	2	式
	指 令 制 御 装	置	1	式	直		流	信	Ē	源		装	置	1	式
	指令メンテナンスサー	バ	1	台	携	帯	電	話	_	斉	指	令 装	置	1	台
	データメンテナンス装	置	1	台	高		速	電	源	į	避	雷	器	2	台
	携帯電話・IP電話受信転送数	支置	4	枚	高		速	口	線	Į.	避	雷	器	100	回線
	指     揮	台	2	台	Ν	Е	T 1	. 1	9	クラ	ライ	アン	ト	1	台
指	事 案 管 制 装	置	1	台	無	絼	見 紛	t 1	钊 ,	台	統	制	席	1	台
揮	多 目 的 情 報 表 示 装	置	1	台	無	絼	見 紛	t 1	钊 ,	台	個	別	席	7	台
台	自動出動指定装	置	1	台	位	置	情	報	受	: 信	ま サ		バ	1	台
	地 図 等 検 索 装	置	1	台											
指令	自動出動サー	バ	1	台											
電送	ウイルス対策サー	バ	2	中		_									
電送装置	検 疫 P	С	1	台											

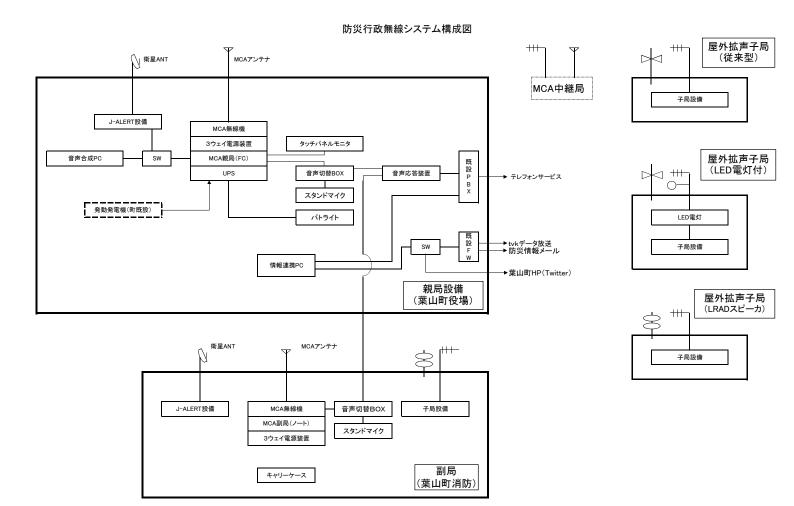
#### 2 指令情報施設 (消防本部・消防署)

令和4.4.1現在

名	, 1					称	数	量	名	1					称	数	量
受	令	端		末	装	置	1	台	駆	込	通	ļ	報	装	置	1	台
指	令	情 報		出	力装	置	2	台	風	向	風	速	発	信	器	1	式
情	報	共 有	W	Е	B 端	末	2	台	雨	-	量	発		信	器	1	式
表	示 用	液晶	デ	イン	スプレ	イ	4	台	気	象	総	合	変	換	器	1	式
無	停	電	電	源	装	置	2	台	G	Р	S	時	計	装	置	1	式
高	速	口	線	避	雷	器	1	式	気	象	デー	タ	処	理装	置	1	台
高	速	電	源	避	雷	器	1	式	車	両	運	用 5	端 非	ド 装	置	6	台
ネ	ツ	トワ	_	ク	カメ	ラ	2	台									

令和4.4.1現在

種別	呼出名称	空中線電力(W)	摘要				
基地局	葉山消防	8	1CH(消防波)2CH(救急波) 送受信所:葉山町消防本部内 通信所:横須賀市消防局内				
	葉山広報1		可搬型				
	葉山指揮本部 1		り加生				
	葉山指揮1						
	葉山指揮ポンプ1						
	葉山ポンプ2						
	葉山救助1	5					
	救急葉山 1	5	車載型				
	救急葉山 2		<b>平</b> 東空				
	葉山機動1						
	葉山機動 2						
	葉山資材1						
	葉山資材 2						
	葉山指揮101						
	葉山指揮ポンプ101						
陸上移動局	葉山ポンプ201						
	葉山救助101						
	救急葉山101						
	救急葉山201	2	携帯型				
	葉山機動101						
	葉山機動201						
	葉山資材101						
	葉山資材201						
	葉山101						
	葉山指揮301~303						
	葉山指揮ポンプ301~304						
	葉山ポンプ301~304	1	携帯型				
	葉山救助301~304	1	(署活系無線)				
	救急葉山301~304						
	葉山301、302						



### 防災通信機器等

#### 1 通信施設

#### (1)葉山町防災行政無線

令和4.4.1現在

種	Ē	別	台数		設		置		場		所	
	親	局	1式	役	場	防	災	行	政	無	線	室
固定系	副	局	1式	消	防作	戦 室	(	防災	行:	政 無	線室	)
	子	局	33台	町		内		各		筃		所
移動系	車載局・可搬局	・携帯局	30台		役場・	各学校	・その	)他関係	幾関等	(次頁	参照)	

#### (2)神奈川県防災行政通信網

令和4.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備	考
無線電話	消防本部・署・役場	6台	各 関 係	部 署 に 配 置
ファクシミリ	消防作戦室・総務部防災安全課	2台	消防本部か	ら役場までは有線

#### ア無線電話配置場所及び番号

令和4.4.1現在

	設	置	場	所		番	号	設		置	場	戸	ŕ	番号
消		防	長		室	9 2 0	2	都市	ī 経	済 部	道路	河川	課	9 3 0 8
消	防	本 剖	7 作	戦	室	9 2 0	9	福	祉	部	福	祉	課	9 3 0 9
災	害	対	策	本	部	9 3 0	6	FAX(	消	方 本	部 作	戦 室	)	9 2 0 0
総	務音	部 防	災安	全	課	9 3 0	7	FAX(	防	災	安 全	課	)	9 3 0 0

#### 2 その他通信機器等

令和4.4.1現在

種		別	設	置	場	所	台数	備					考				
県ネット	ワーク	システム	消	防作	戦	室	1式	県	と	電	話	□	線	に	て	接	続
アマチ	ュア	無線局	消防	本 部	事	務室	2基	代	表	葉 山	ア	マチ	ユ	ア無	線	クラ	ブ
県 計	測地	震 計	消防作戦	室(防災	災行政第	無線室)	1式	県	と	電	話	口	線	に	て	接	続
衛	星	1 話	総務	部防	災安	全 課	4台	災		害		非	Ē		常		用
携	帯	1 話	総務	部防	災安	全 課	11台	災		害		非	Ē		常		用

# 3 防災用移動系無線局(MCA無線)

令和4.4.1現在

種			別	呼出し名称	配 置 先
	1 甲	<b>が</b>	型	はやま 101	災害対策本部用
	2 <b>耳</b>	丁 搬	型	はやま 102	葉山町消防本部
	3 <del>I</del>	<b>が</b>	型	はやま 103	葉山警察署警備課
	4 F	「 搬	型	はやま 104	災害対策本部用
	5 <del>P</del>	<b>が</b>	型	はやま 105	災害対策本部用
	6 <del>P</del>	<b>が</b>	型	はやま 106	災害対策本部用
	7 <del>P</del>	<b>が</b>	型	はやま 107	上山口小学校(指定避難所)
	8 <del>I</del>	<b>が</b>	型	はやま 108	一色小学校(指定避難所)
	9 <sub>日</sub>	<b>が</b>	型	はやま 109	葉山小学校(指定避難所)
	10 🕫	可 搬	型	はやま 110	長柄小学校(指定避難所)
	11	可 搬	型	はやま 111	葉山中学校(指定避難所)
	12 7	可 搬	型	はやま 112	南郷中学校(指定避難所)
	13 捜	携 帯	型	はやま 201	福祉文化会館(指定緊急避難所)
	14 技	携 帯	型	はやま 202	木古庭会館·児童館(指定緊急避難所)
MCA無線	15 ±	携 帯	型	はやま 203	上山口会館·児童館(指定緊急避難所)
MCA AMAJOK	16 扌	携 帯	型	はやま 204	下山口会館・児童館(指定緊急避難所)
	17 捌	携 帯	型	はやま 205	葉桜会館·児童館(指定緊急避難所)
	18 捜	携 帯	型	はやま 206	県立逗葉高校(指定緊急避難所)
	19 捜	携 帯	型	はやま 207	南郷上ノ山公園
	20 技	携 帯	型	はやま 208	災害対策本部用
	21 🖠	携 帯	型	はやま 209	災害対策本部用
	22 技	携 帯	型	はやま 210	災害対策本部用
	23 扌	携 帯	型	はやま 211	災害対策本部用
	24 🖠	携 帯	型	はやま 212	災害対策本部用
	25 I	車 載	型	はやま 301	消防本部指揮車
	26 I	車 載	型	はやま 302	役場共用車6号車
	27	車 載	型	はやま 303	役場共用車9号車
	28 I	車 載	型	はやま 304	役場共用車3号車
	29 I	車 載	型	はやま 305	道路河川課専用車
	30 I	車 載	型	はやま 306	道路河川課専用車

# 消防団通信機器等

1 無線・有線施設

令和4.4.1現在

番号			討	ī. X		1	庯			台	数
1	デ	ジ	タ	ル	簡	易	無	線	局	65	台
2	加			入		電			話	6	台

2 無線局

令和4.4.1現在

規 格	局数	設置場所	台 数	出力(W)
		本 団	15 台	5 W
デ		第 1 分 団	8 台	5 W
デジタル		第 2 分 団	8 台	5 W
簡見	65局	第 3 分 団	8 台	5 W
簡 易 無 線 局		第 4 分 団	8 台	5 W
局		第 5 分 団	10 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

### 119番着信件数 (固定·IP電話)

令和3年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	5	889	4	17	2	39	2	32	106	88	65	1, 249

#### 119番着信件数(携帯電話)

令和3年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	7	686	14	18	45	84	2	90	164	19	2	1, 131

#### NET119を利用しての通報件数

令和3年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数													0

#### NET119登録者数

令和3.12.31現在

登録者数

17

# 気 象 関 係



森戸海岸の夏空

# 月別気象調

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	16.9	19.6	22.3	23. 1	27.7	30. 1	33. 5	34. 7	30. 1	28.0	21.1	19.8	
(起日)	(16日)	(22日)	(30日)	(21日)	(18日)	(9日)	(25日)	(27日)	(23日)	(6日)	(2日)	(1日)	
最 低	-1.4	-0.9	3.8	6.0	9.6	16.8	20.0	19. 1	17. 2	9.7	4. 2	- 1.8	
(起日)	(10日)	(19日)	(4日)	(10日)	(3日)	(1日)	(1日)	(15日)	(7日)	(23日)	(29日)	(27日)	
平均	6. 2	9. 2	13.0	14.8	19.0	22. 1	25. 4	26.8	22.5	18.4	14. 4	8.9	16. 7

### 湿度(%)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	98.5	98. 7	99.0	99.9	99.9	99.5	99.9	99. 9	99. 9	99. 9	99.9	99. 9	
(起日)	(29日)	(15日)	(14日)	(14日)	(21日)	(20日)	(10日)	(19日)	(18日)	(20日)	(22日)	(1日)	
最 低	16. 1	15. 1	22.0	18.6	20.0	31.1	44.7	48.3	41.3	33.0	26.0	15. 7	
(起日)	(7日)	(9日)	(10日)	(26日)	(3日)	(9日)	(25日)	(5日)	(24日)	(23日)	(28日)	(18日)	
平均	55.6	49.8	65.0	64. 1	77. 1	80.1	85.8	85.4	82.5	77. 1	64. 9	59.4	70.6

#### 風速(m/s)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	26. 5	26. 2	27.9	26. 2	23. 9	25. 3	16.8	25. 5	17.5	18. 9	19.9	28.0	
風向	西北西	南	南	南	南南西	南	南南西	南	南	北北東	西北西	南	
(起日)	(7日)	(2日)	(21日)	(18日)	(21日)	(4日)	(2日)	(14日)	(18日)	(1日)	(10日)	(1日)	
平均	1.8	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	1.6	1. 5	2.0	1.5	1.6	1. 7	1.8	1.8

### 雨量(mm) · 積雪量(cm)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
日最大	17.5	90.0	78.0	58.0	51.5	20.5	144. 0	109.0	99.0	109.5	87. 5	91.0	
(起日)	(23日)	(15日)	(13日)	(29日)	(27日)	(29日)	(3日)	(8日)	(9日)	(1日)	(9日)	(1日)	
降雨日数	6日	2日	11日	8日	13日	13日	10日	13日	13日	15日	6日	7日	
降雨量	56. 5	101.5	186.0	158. 5	140.0	115.0	357. 5	213.0	241.5	164.0	125.0	145.0	167. 0
積雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

# 風向頻度調

(%) 令和3年中

( /0 /												14 117	0 T.L.
	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
風向	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	4. 2	5. 2	3. 5	4.8	2.8	2.8	1. 7	2.3	2. 7	7. 3	5. 7	5. 5	5. 5
北北東	6.6	9. 2	6. 1	6. 9	4. 3	3. 4	2. 4	2.8	3. 0	11. 2	10.4	11.0	8.3
北東	10. 5	18. 5	10.7	12. 4	7.8	5. 6	4. 6	4. 2	3. 7	15. 4	14.8	12.8	15. 0
東北東	19. 4	26. 1	22. 2	19.8	16. 9	14. 1	18. 1	16. 5	13. 7	16. 7	20.9	23. 1	25. 2
東	9. 4	9.0	9. 2	8. 4	11.0	7. 5	12. 3	9.8	7. 9	8.8	11.2	9. 2	8. 9
東南東	4. 1	2.6	3.0	3. 7	4. 7	4. 1	5. 9	5. 3	4. 2	5. 0	3. 7	3. 7	3.0
南東	3. 2	2.0	1.9	2.8	2.9	3. 2	5. 6	4.6	4. 5	4. 4	2.7	1. 7	1.8
南南東	4.8	1. 2	2. 1	4. 0	6.6	7.6	8. 0	7. 0	10. 3	4. 7	3. 0	1.9	1. 1
南	11. 3	0.9	7. 9	15.8	13. 7	20.6	15. 4	19. 7	23. 1	6. 9	6. 5	2. 7	2. 1
南南西	7. 4	1.6	6. 5	9. 0	12. 7	12. 1	10. 2	12.6	11. 4	3. 0	4. 6	2. 4	2. 5
南西	3.6	1. 3	2. 3	3. 4	4. 1	5. 3	6. 7	8. 3	5. 4	2. 0	1. 7	1. 2	1.8
西南西	0.9	0.6	0.8	0.7	1.0	1.6	1. 3	1. 4	1. 1	0. 7	0.5	0.3	0.7
西西	1. 2	1. 1	1.6	0.9	1. 7	1.5	0.9	0.8	0.9	0.6	0.7	1.2	2.0
西北西	3. 1	6.8	7.4	1. 1	2. 1	1.4	1. 4	0.7	1. 2	0. 9	1.2	6. 2	7. 1
北西	5.8	7. 5	11.2	2. 4	4. 7	5. 6	2.7	1.5	2. 9	4.8	4.9	11.5	9.9
北北西	4.6	6. 4	3.6	3. 9	3. 0	3.6	2.8	2. 5	4. 0	7. 6	7. 5	5.6	5. 1
静穏	2. 3	0.6	0.3	0.6	0.6	1.7	2. 9	7. 5	2. 4	4. 4	4. 1	1.8	0.8

# 予 防 関 係



2021防火ポスターコンクール表彰式

# 防火対象物·防火管理者選任状況

(防火対象物数は延べ面積150㎡以上)

令和4.4.1現在

		数は延 <sup>へ</sup> 面積150m以上) 区分		防火管理者	防火管理者
	用途		防火対象物数	選任義務対象物	選任届出済対象物
	イ	劇場等		ZEE4333743170	EE/6/7/13/10
1 項	П	公 会 堂 等	15	20	20
	1	キャバレー等			
	П	遊技場等			
2 項	ハ	性風俗関連店舗等			
	11	カラオケボックス等			
o 1百	イ	待 合 等			
3 項	П	飲 食 店 等	19	15	15
4 項		物品販売店等	29	20	20
5 項	イ	旅館等	26	16	16
5 · 块	П	共 同 住 宅 等	190	25	24
	イ	病 院 等	6	3	3
6 項	П	社会福祉施設等(入所)	15	15	14
0 4	ハ	社会福祉施設等 (通所)	10	11	11
	11	幼 稚 園 等	7	7	7
7 項		学 校 等	17	20	20
8 項		図 書 館 等	4	3	3
9 項	イ	蒸気浴場等			
0 14	П	公 衆 浴 場 等			
10 項		停 車 場 等			
11 項		神 社 等	17	4	4
12 項	イ	工 場 等	7	1	1
12 🗡	口	ス タ ジ オ 等			
13 項	イ	駐 車 場 等	4	1	1
	口	格 納 庫 等			
14 項		倉 庫 等	11		
15 項		事 業 所 等	46	13	13
16 項	イ	特 定 複 合 用 途	70	27	27
	ロ	非特定複合用途等	21	2	2
16項の2		地 下 街			
16項の3		準 地 下 街			
17 項		重 要 文 化 財 等	1	1	1
18 項		アーケード			
19 項		山 林			
20 項		舟 車			
合		計	515	204	202

# 3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上) 令和4.4.1現在

		, 階数						77 714.	合
用途		THE	3	4	5	6	7	8	<b>∌</b> 1.
71176	イ	劇場等							計
1 項		公会堂等	2						2
	イ	キャバレー等							
		遊技場等							
2 項		性風俗関連店舗等							
	=	カラオケボックス等							
3 項	イ		1						1
4 TH	口	飲食店等	1						1
4 項	,	物品販売店等	1	,					1
5 項	イ	旅館等	9	4				_	13
	D ,	共 同 住 宅 等	36	13	9	8	2	1	69
	イ	病院等	1						1
6 項	口	社会福祉施設等(入所)	5	3	1				9
	ハ	社会福祉施設等(通所)	1						1
	=	幼 稚 園 等							
7 項		学 校 等	11						11
8 項		図 書 館 等							
9 項	イ	蒸気浴場等							
	口	公 衆 浴 場 等							
10 項		停 車 場 等							
11 項		神 社 等	1						1
12 項	イ	工場等	1						1
12 ×	口	ス タ ジ オ 等							
13 項	イ	駐 車 場 等							
10	口	格 納 庫 等							
14 項		倉 庫 等	1						1
15 項		事 業 所 等	11	2					13
16 項	イ	特 定 複 合 用 途	32	5	1	1			39
10 場	口	非特定複合用途等	10	4	1				15
16 項の2		地 下 街							
16 項 の 3		準 地 下 街							
17 項		重要文化財等							
18 項		アーケード							
19 項		山 林							
20 項		舟 車							
合		計	123	31	12	9	2	1	178

														`和3	
		届出	防	消	統	全体	防	特	圧縮	消	消	表	火	電	防
			火	防	括 防	に	火	/ <del>**</del> !	ア	防	防	示	気	気	火
			管	計	火	2	対	例	セ		用	マ	使	×(	対
			理		管	<i>V</i> \		認	チレ	用	設	1		設	
			者	画	理	ての	象	心值	ン	設		ク	用		象
			選	作	者	消	物	定	ガ		備	交	設	備	物
			任	成	選	防	点	~	ス等	備	等	付付	備	等	使
			士		任	計画		適	貯	等	点	11			
			<u> </u>	変		画作	検		蔵	⇒几	検	$\widehat{}$	等	設	用
			解		解	成	結	用	又 は	設	結	更	設	置	開
			任	更)	任	変	果	-	取	置		新	置	E.	始
			)			更		申	扱い	届	果	$\overline{}$		届	
			届	届	) [	)	報	請	0		報	申	届	111	届
			出	出	届出	届	告	日日	届	出	告	請	出	出	出
用	途		書	書	書	出書	書	書	出書	書	書	書	書	書	書
	イ	劇場等	3	3			, .	, .			,				
1	П	公   会   堂   等	-		1	1	8			2	16				
					1	1	O				10				
	1	キャバレー等													<b>.</b>
2	口	遊 技 場 等													
	ン	性風俗関連店舗等								L,					L
	11	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
	1	待 合 等													
3		飲食店等	4	4						8	18				5
4		物品販売店等	5	8			1			1	31			1	1
4	,													1	1
5	1		1	2			1			9	32				2
	口	共 同 住 宅 等	4	5						10	57		1		3
	イ	病院等		2			1				4				1
C	口	社 会 福 祉 施 設 等 ( 入 所 )	4	4					1	1	15		1		
6	ハ	社 会 福 祉 施 設 等 ( 通 所 )	1	2				1		1	16				3
	11	幼 稚 園 等		1							7				
7		学校等	1	3						1					
-			1	J						1	-				
8											1				
9	イ	蒸気浴場等													
	口	公 衆 浴 場 等													
10		停 車 場 等													
11		神社等									8				
	イ	工場等									1				
12	П	<u>ス</u> タジオ等											-	-	1
$\vdash$										0					
13	イ									2					
	口	格納庫等													
14		倉 庫 等									2				
15		事 業 所 等	2	2						5	15			1	
	イ	特 定 複 合 用 途	7	8	2	2	10	1		12	48				9
16	П	非特定複合用途等													1
16項		地下街											-	-	_
16項		進 地 下 街											-	-	1
L	v) 3														
17		重 要 文 化 財 等													<u> </u>
18		ア ー ケ ー ド													
19		山林								L	L	L			L
20		舟 車													
そ		の他												2	
合		計	32	44	3	3	21	2	1	52	271	0	2	4	25
		Τī	32	44	3	3	41	7	1	92	411	U	7	4	∠5

# その他届出状況

令和3年度

												13 114 6	
月届出	4	55	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
催物開催届出書													
火災と紛らわしい行為の届出書	3	3		3	1			11	8	9	2	4	44
煙 火 打 上 げ 届 出 書	1		1										2
道路工事(占用)届出書	5	5	14	9	7	11	5	7	7	5	11	8	94
露店等開設届出書													

# 危険物関係届出状況

令和3年度

	種別							少量危険物貯蔵取扱い届出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任(解任)届出書	危険物貯蔵所 (取扱所) 変更届出書	危険物製造所等譲渡引渡届出書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書
屋		内	貢	Ī	蔵		所							
屋	内	タ	ン	ク	貯	蔵	所							
地	下	タ	ン	ク	貯	蔵	所			1	2			1
移	動	タ	ン	ク	貯	蔵	所							
給		油	耵	Ż	扱		所			4	2			
第	2	種	販	売	取	扱	所				1			
_		般	耵	Ż	扱		所				1			
そ	の	他	Ø	事	業	所	等	2						
合							計	2		5	6			1

# 火災予防査察実施状況

防火対象物(対象は150m<sup>2</sup>以上)

令和3年度

1747 4	/·1 // /	勿(対象は150111以上)				14 .1 1	3 牛皮
	/ 方法施 長第10	査察実施数 活行令 の防火対象物	防火対 象物数 A	查察 実施数 B	查察 実施率 B/A %	警告数	命令数
(1)	口	公 会 堂 等	15				
(3)	口	飲 食 店 等	19	6	32		
(4)		物 品 販 売 店 等	29	17	59		
(5)	イ	旅 館 等	26	16	62		
(0)	П	共 同 住 宅 等	190				
	イ	病 院 等	6	3	50		
(6)	П	社会福祉施設等 (入所)	15	14	93		
(6)	ハ	社会福祉施設等 (通所)	10	1	10		
	1	幼 稚 園 等	7				
(7)		学 校 等	17				
(8)		図 書 館 等	4				
(11)		神 社 等	17				
(12)	イ	工 場 等	7				
(13)	イ	駐 車 場 等	4				
(14)		倉 庫	11				
(15)		事 業 所 等	46				
(10)	イ	特 定 複 合 用 途	70	19	27		
(16)	П	非特定複合用途等	21				
(17)		重 要 文 化 財 等	1				
1	合	計	515	76	15		

	険物施	正設			查	察実	施数	危険物 施設数 A	查察 実施数 B	查察 実施率 B/A %	警告数	命令数
屋		内	貝	宁	蔵		所	1	1	100		
屋	内	タ	ン	ク	貯	蔵	所	1	1	100		
地	下	タ	ン	ク	貯	蔵	所	10	5	50		
移	動	タ	ン	ク	貯	蔵	所	1	1	100		
給		油	耳	文 文	扱		所	8	8	100		
第	2	種	販	売	取	扱	所	1	1	100		
_		般	耳	Ž	扱		所	10	1	10		
	合					計		32	18	56		

# 危険物施設状況

令和4.4.1現在

		貯蔵原	<b>近等</b>		貯庫	<b>菱</b> 所			744.4.	合	
				屋	屋内タン	地下タンク	移動タン	給	第2種販売	_	
⊵	区分			内	ク	ク	ク	油	売	般	計
	第	1	類								
類	第	2	類								
	第	3	類								
	第	4	類	1	1	10	1	8	1	10	32
別	第	5	類								
	第	6	類								
	合	計		1	1	10	1	8	1	10	32
	5	倍 以	下	1	1	7	1			4	14
数	5 倍 8	を超え10 倍	音以下			2		1		6	9
	10 倍 8	を超え50 倍	音以下			1		2	1		4
量	50 倍 8	を超え100倍	5以下					1			1
	100 倍 8	を超え150倍	5以下								
別	150 倍 8	を超え200倍	5以下					1			1
	200 倍	を超える	もの					3			3
	合	計		1	1	10	1	8	1	10	32

# 地区別危険物施設状況

令和4.4.1現在

地区	木	上	下	_	堀	長	合
	古	山	Щ			·	
貯蔵所等	庭	П	П	色	内	柄	計
屋内貯蔵所					1		1
屋内タンク貯蔵所					1		1
地下タンク貯蔵所	1	1	1	1	5	1	10
移動タンク貯蔵所						1	1
給 油 取 扱 所	3			2	2	1	8
第2種販売取扱所	1						1
一 般 取 扱 所	1	2	1	3	2	1	10
合 計	6	3	2	6	11	4	32
少量危険物	3	11	3	9	7	7	40

# 地区別危険物貯蔵取扱状況

令和4.4.1現在

	地区	木	上	下	_	堀	長	合
		古	Щ	Щ				
数	頁別	庭	П	П	色	内	柄	計
	第1石油類	86,000			80, 000	6, 380	50, 000	222, 380
第 4 類	第2石油類	48, 956. 8	16, 078	14, 000	70, 000	31, 070	41, 540	221, 644. 8
	第 3 石 油 類	6, 000			11, 000	67, 381	8, 000	92, 381
(0)	第 4 石 油 類							
合	計	140, 956. 8	16, 078	14, 000	161, 000	104, 831	99, 540	536, 405. 8

# 危険物施設許認可処理状況

令和3年度

		貯蔵所等		貯虐	<b>載</b> 所			取扱所			
件	:数		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般	その他の 事業所等	合 計
許	可	変更									
ĦI	ΗJ	設 置									
完	成	変 更									
検	查	設 置									
他i	市へ	の変更									
(移	動	タンク)									
仮	使月	用 承 認									
仮身	宁 蔵	• 仮取扱								7	7
完成	<b>以検</b> 3	生前 検 査									
予	防	変更					3				3
規	程	制 定									

# 用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む) 今和3年度

(FI III)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	K(C B (J)						1	7年5千尺
			種別		新	増	改	用途	合
用法	凃				築	築	築	変 更	計
7137	1	劇		<u> </u>					
1	П	公会	<del>"————————————————————————————————————</del>	等		1			1
	1	キャバ	<u>ー</u> レー	等		1			1
	П		 場	等					
2	ハ	性風俗関		<del>第</del>					
	=	カラオケ		等					
	イ		<u></u>	等					
3	口	飲食	店	等					
4		物 品 販	売 店	等	1				1
	イ		·····································	等					
5	口	共 同 1	主宅	等					
	イ	病	浣	等					
C	口	社会福祉施	没 等 ( 入 所	)	1				1
6	ハ	社会福祉施	没等 (通所	)				1	1
	11	幼 稚	遠	等					
7		学	交	等					
8		図書	館	等					
9	イ	蒸気流	谷 場	等					
9	П	公 衆 注	谷 場	等					
10		停車	場	等					
11		神	<b></b>	等					
12	イ		·旦 勿	等					
12	口	スタ・	ジオ	等					
13	イ	駐車	場	等		1			1
	口	格納	庫	等					
14			車	等					
15		事業	所	等	2				2
16	イ	特定複	合 用	途					
	口	非 特 定 複	合 用 途	等					
住		宅	同	意	7	2			9
			通	知	143	6			149
長	<b>∴</b> n.	<i>&gt;,</i> }_	<i>D</i>	屋					
仮	設	海	<i>の</i>	家	6				6
建	築	設備	通	知	4				4
そ		の	同	他意	4	4		1	4
小		計	<u></u> 通	知	21	6		1	26 153
合			地	計	147 168	10		1	179
				рΙ	100	10		1	119

#### 地区別消防同意•確認通知•計画通知状況

令和3年度

区分			地区	木古庭	上 山 口	下 山 口	一色	堀	長柄	合計
消	防	同	意		1	4	7	12	2	26
確	認	通	知	8	3	23	52	28	39	153
計	画	通	知							
合			計	8	4	27	59	40	41	179

### 過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

種別	年	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1274		36	36	35	19	21
新	築	151	156	159	140	147
	ľ		1			
		3	1	2		4
増	築	5	1	2	9	6
改	築					
m	_	1	1	3		1
用途変	更					
		40	9.0	40	10	9.0
		40	38	40	19	26
小	計	156	157	161	149	153
			1			
合	計	196	196	201	168	179

上段 消防同意によるもの

中段 確認通知によるもの

下段 計画通知によるもの

# 救 急 関 係



救急活動シミュレーション訓練

#### 救急概況

救急出場件数単位:件

救急搬送人員単位:人 令和3年中

救	急	出	場	件	数	1, 608
救	急	搬	送	人	員	1, 508

#### 町内外在住別搬送人員状況

単位:人 令和3年中

町	内	在	住	者	1, 198
町	外	在	住	者	310
そ		Ø		他	
合	-		-	計	1, 508

#### 傷病程度別搬送人員状況

単位:人 令和3年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
25	124	824	535		1,508

#### 発生日別状況

休日	休日以外	合 計
300	1, 308	1,608

#### 救急救命士資格者及び再教育実施状況

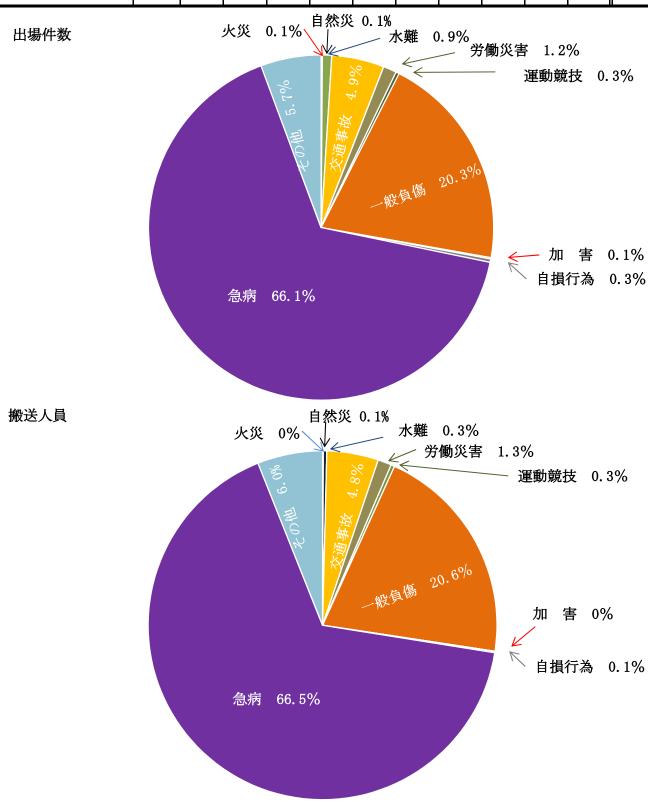
		特定行為詞	忍定救命士		
救急救命士 (指導救命士)	気管挿管	ビデオ硬性挿管 用喉頭鏡	薬剤投与	拡大2行為	再教育
17 (2)	12	10	17	16	12

- ・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。
- ・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(64時間以上の病院実習、32時間の指導救命士による救急隊員に対する教育及び32時間の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

#### 救急出場 • 搬送人員状況

令和3年中

	種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自損	急	その	合
件数/人員		災	災 害	難	事 故	災 害	競 技	負 傷	害	行 為	病	の他	計
出場	件 数	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608
搬送	人 員		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1, 508

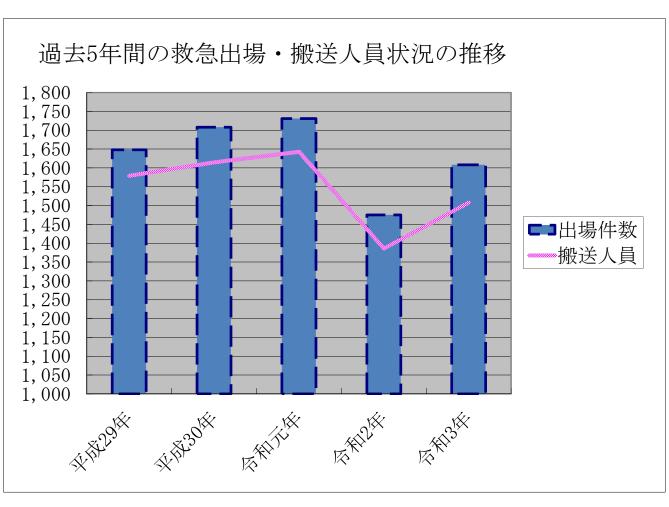


# 月別救急出場・搬送人員状況

	種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合	不
			然	/10		働	動	般	/54	損	167	の		搬
		<b>&lt;</b> <<	災	難	盗	災	競	負	生	行	\ <del></del>		∌L.	
月	件数/人員	災	害	羝	通	害	技	傷	害	為	病	他	計	送
1	出場件数				9	2		34		1	84	8	138	7
1	搬送人員				9	2		34			78	8	131	·
2	出場件数			1	8	1		21	1	1	77	7	117	9
	搬送人員				8	1		21			71	7	108	Ü
3	出場件数			2	5			20			94	6	127	4
0	搬送人員			2	4			20			91	6	123	1
4	出場件数				7		1	24			91	8	131	3
7	搬送人員				7		1	24			88	8	128	3
5	出場件数			2	5	4		19			82	6	118	8
J	搬送人員			1	3	4		17			79	6	110	8
6	出場件数				9	3		22		1	88	5	128	9
0	搬送人員				5	3		20			86	5	119	9
7	出場件数			2	3	1	1	30			104	8	149	13
,	搬送人員			1	3	1	1	29			93	8	136	13
8	出場件数			1	8	4	1	31	1	1	100	7	154	14
Ö	搬送人員				7	4	1	28		1	92	7	140	14
9	出場件数			2	4		1	24			90	4	125	7
9	搬送人員			1	4		1	22			86	4	118	l '
10	出場件数		1	3	6	2		39		1	82	13	147	14
10	搬送人員		1		6	1		37		1	74	13	133	14
11	出場件数				6	1	1	32			83	8	131	9
11	搬送人員				7	1	1	30			76	8	123	Э
12	出場件数	1		1	9	2		31			88	11	143	4
12	搬送人員				9	2		29			88	11	139	4
合計	出場件数	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608	101
口訂	搬送人員		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1,508	101

#### 過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別 件数/人員	火災	自然災害	水	交通	労 働 災 害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
平成	出場件数	6		3	89	9	6	332	4	5	1, 115	79	1,648	71
29年	搬送人員	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579	' 1
平成	出場件数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1, 153	74	1,708	97
30年	搬送人員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615	31
令和	出場件数	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1, 150	87	1, 731	100
元年	搬送人員	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643	100
令和	出場件数	4		5	73	11	5	289	6	9	963	110	1, 475	95
2年	搬送人員	1		4	72	11	6	277	5	3	899	108	1, 386	30
令和	出場件数	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608	101
3年	搬送人員		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1,508	101



# 町内外在住別救急搬送人員状況

令和3年中

	種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合
			然	. •		働	動	般		損		D	
			災			災	競	負		行		0)	
在住		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
町	内		1	2	40	6	1	249		2	854	43	1, 198
町	外			3	32	13	4	62			148	48	310
その	他												
合	計		1	5	72	19	5	311	-	2	1,002	91	1, 508

# 時間別救急出場状況

令和3年中

												13.4	
	種別	火	自然	水	交	労働	運動	一般	加	自損	〕	その	合
時間		災	災害	難	通	災害	競技	負 傷	害	行為	病	他	計
0 ~	2				4			8	1		54		67
2 ~	4					1		5			49	1	56
4 ~	6			1	1			10			38		50
6 ~	8			1	8	1		20			73		103
8 ~	10			1	6	3	2	35			119	6	172
10 ~	12		1		8	5		47		2	142	17	222
12 ~	14				7	4	1	43		1	135	16	207
14 ~	16			7	14	4	2	51			76	9	163
16 ~	18	1		2	12			39		1	122	16	193
18 ~	20			1	11	1		37	1	1	105	14	171
20 ~	22				8	1		18			94	7	128
22 ~	24			1				14			56	5	76
合	計	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608

# 曜日別救急出場状況

令和3年中

種別	火	自	水	交	労	運	<u> </u>	加	自	急	そ	合
		然災			働災	動競	般 負		損 行		の	
曜日	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
日	1		4	13	1	1	49	1		149	6	225
月			4	11	3		52	1	1	138	19	229
火				4	3	2	38			156	12	215
水			1	14	3		47		1	144	15	225
木			1	16	5		46			162	13	243
金		1	1	10	1	·	42		2	157	18	232
土			3	11	4	2	53		1	157	8	239
合 計	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608

### 覚知別救急出場状況

令和3年中

種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合
		然			働	動	般		損		$\mathcal{O}$	
		災			災	競	負		行			
覚知	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
1 1 9 番	1	1	9	76	20	5	318	2	5	1,048	90	1, 575
加入			2				1			7	1	11
駆けつけ				1			4			1		6
その他		·	3	2		·	4		·	7	·	16
合 計	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608

# 地区別救急出場状況

	種別	火	自然	水	交	労働	運動	—— 6几	加	自損	急	そ	合
		災	然	難	通	災 害	競競技	般 負 傷	害	行為	病	の他	計
地区		90	音	大瓜	, (i.	音	1又	汤	П	杨	71.1	,	μι
木 古	庭				6	3		19		1	59		88
上 山	口				9	2		20			93		124
下 山	口				7			16			72	70	165
_	色	1	1	3	15	1		101		1	290	9	422
堀	内			11	16	9	2	102	1	3	293	7	444
長	柄				26	5	3	68	1		252	3	358
町	外							1			4	2	7
合	計	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608

# 年齢区分·傷病程度別救急搬送人員状況

	種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	7/1 そ	合
			然	/1/		働	動	般	///	損	157		
年齢			災			災	競	負		行		の	
区分	傷病程度	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
	死 亡												
新生児	重 症												
	中等症												
	軽 症												
	その他												
	合 計												
乳幼児	死 亡												
	重 症												
	中等症							6			4		10
	軽 症				1			8			25		34
	その他												
	合 計				1			14			29		44
	死 亡												
	重 症				1								1
少	中等症				2		2	2			5	2	13
年	軽 症				4		1	9		1	12		27
	その他												
	合 計				7		3	11		1	17	2	41
	死 亡			2	1					1	2		6
	重 症			2	4	2		2			10	3	23
成	中等症				19	6		12			138	5	180
人	軽 症				28	4	2	31			97	3	165
	その他												
	合 計			4	52	12	2	45		1	247	11	374
高齢者	死 亡			1				1			17		19
	重症				2			3			74	21	100
	中等症		1		4	4		122			439	51	621
	軽 症				6	3		115			179	6	309
	その他												
	合 計		1	1	12	7		241			709	78	1,049
合計	死 亡			3	1			1		1	19		25
	重 症			2	7	2		5			84	24	124
	中等症		1		25	10	2	142			586	58	824
	軽 症				39	7	3	163		1	313	9	535
	その他												
	合 計		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1,508

# 救急隊員の行った応急処置

						令和3年中
	種別	急	交	_	そ	合
				般	Ø	
		病	通	負	他	計
応急処置				傷		
応 急 処 置	対 象 人 員	1,002	72	311	123	1, 508
止	úl.	7	6	16	4	33
固	定	16	48	103	9	176
人工	呼    吸	8			3	11
心 マッツ	サ ー ジ					
	うち 自動					
心肺	蘇生	26	2	1	4	33
	うち自動	18		1	2	21
酸素	吸 入	240	4	14	44	302
気 道	確保	36	2	2	5	45
	うち経鼻エアウェ	1				
	うち喉頭鏡・鉗子等使	:用 3				3
	うちラリンゲアルマスク等使	用 15	1	1	2	19
	気 管 挿	管 2			1	3
保	温	771	59	258	99	1, 187
被	覆	15	43	104	15	177
在宅療	法 継 続	20		2	1	23
	A 点 滴				1	1
	B 外 瘻	1		1		2
	C そ の 他	19		1		20
	細 動	5	1			6
薬剤	投 与	15	1	1	1	18
その他の	応 急 処 置	990	72	311	122	1, 495
血 圧	測 定	964	71	307	120	1, 462
聴		546	50	91	51	738
血 中 酸 素 拍		977	71	308	118	1, 474
		770	37	132	84	1,023
	うち伝送					
	A 確 保	20	1	1	1	23
	うち CPA 前	5				5
血糖	測定	14			1	15
エピペ	ン投与	1				1
ブドウ	糖 投 与	1				1

## 収容状況

令和3年中

収名	種別	火災	自然災害	水	交通	労 働 災 害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬 送 件 数
町	内医療機関			1	2	1		18			184	8	214
	逗子市				1			4			3		8
町 外	横須賀市		1	4	47	13	2	189		1	495	21	773
医療機	鎌倉市				15	4	2	70			225	49	365
機関	横浜市				6	1	1	29		1	85	10	133
	その他							1			10	3	14
合	計		1	5	71	19	5	311		2	1,002	91	1, 507

## 医療機関紹介状況

令和3年中

紹	介	先	管内当番医療機関	当番以外の 管内医療機関	その他の医療機関	合 計
件	件 数 45			235	280	

## 応急手当普及啓発活動実施状況

令和3年中

講			習	実施要綱に基	づく普及講習	その他の講習	合 計
<del>1円</del>			白	普通救命講習	上級救命講習	ての他の神自	
実	施	回	数	12		3	15
受	講	人	数	102		13	115

## 救 助 関 係



横浜市·葉山町合同航空連携訓練

#### 救助概況

令和3年中

種別区分	火 建 物	災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	そ の 事 他 故	合計
出場件数		1	1	13		1	5	1		7	29
活動件数			1	8			4	1		6	20
救助人員			1	9			4	1		6	21
出場延人員		46	7	144		10	41	11		70	329

## 救助出場人員·活動人員状況

令和3年中

	種別	火	災	交	水	風 自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	^
区	分	建 物	建物以外	通 事 故	難 事 故	水害等	械にる事故	物等を故	スタ事故	裂 事 故	の事他故	合計
	救助隊員		8	3	56		3	21	4	-	37	132
出	消防隊員		14	1	49		4	5	4		21	98
場人	救急隊員			3	39		3	15	3		12	75
員	消防団員		24									24
	合 計		46	7	144		10	41	11		70	329
	救助隊員			3	36			17	4		32	92
活動	消防隊員			1	26			4	4		17	52
動人	救 急 隊 員			3	24			12	3		9	51
員	消防団員											
	合 計			7	86			33	11		58	195

## 発生場所別救助人員状況

令和3年中

	\	種別	火	災	交	水	風 自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	^
<u>X</u>	<b>分</b>		建 物	建物以外	通 事 故	難 事 故	水 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	械にる事故	物 等 事 に 故	ス 及 事 び 故	裂事故	の 事 他 故	合計
屋	住	居							2				2
内	そ	の他の屋内							1	1			2
	道	高速道路											
	路	その他の道路			1								1
屋外	水	内 水 面											
外	面	外水面				9							9
	Щ	岳											
	そ	の他の屋外							1			6	7
坦	<u>μ</u>	下											
そ		の他											
台	ì	計			1	9			4	1		6	21

## 救助出場車両·活動車両状況

令和3年中

	種別	火	災	交	水	風 自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	
X	分	建物	建物以外	通 事 故	難 事 故	水 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	が 械 に 事 故	物 等 に 故	ス 次 事 び 故	裂 事 故	の事他故	合計
	救助工作車		1		1		1	3	1		3	10
出	消防ポンプ自動車		3	1	14		1	5	1		8	33
出場車	救急自動車			1	19		2	5	1		5	33
声声等	その他		4	1	22			2	1		6	36
等	消防団車両		4									4
	合 計		12	3	56		4	15	4		22	116
	救助工作車				1			3	1		3	8
活	消防ポンプ自動車			1	8			4	1		6	20
動	救急自動車			1	9			4	1		4	19
活動車両等	その他			1	16			1	1		5	24
等	消防団車両											
	合 計			3	34			12	4		18	71

## 発生場所別救助出場 (活動) 状況

令和3年中

Image: Control of the	<b>分</b>	種別	火 建 物	災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建物等に	ガス及び	破裂事故	そ の も 故	合計
屋内	住	居							3 (2)			1 (0)	4 (2)
内	そ	の他の屋内							1 (1)	1 (1)			2 (2)
	道	高速道路											
	路	その他の道路			1 (1)								1 (1)
屋外	水	内 水 面											
外	面	外 水 面				13 (8)							13 (8)
	山	岳											
	そ	の他の屋外						1 (0)	1 (1)			6 (6)	8 (7)
坩	<u></u>	下											
そ		の他		1 (0)									1 (0)
<u></u>	j	計		1 (0)	1 (1)	13 (8)		1 (0)	5 (4)	1 (1)		7 (6)	29 (20)

( )内は活動件数を表す

## 時間別救助出場(活動)状況

令和3年中

	種	重別	火		交	水	風 自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	_
			建	建	通	難	水然	る 械	物る	ス欠	裂	の事	合
				物 以	事	事	害 災	事	等 事	及 事	事		計
区分			物	外	故	故	等 害	に故	に故	び故	故	他故	н
0	~	2											
2	~	4											
4	~	6				1 (0)							1 (0)
6	$\sim$	8				1 (1)		1 (0)					2 (1)
8	~	10				1 (0)						1 (1)	2 (1)
10	~	12							3 (2)				3 (2)
12	~	14	1 (0)									2 (2)	3 (2)
14	~	16				7(4)			1 (1)	1 (1)			9 (6)
16	~	18			1 (1)	2 (2)						2 (1)	5 (4)
18	$\sim$	20				1 (1)			1 (1)			1 (1)	3 (3)
20	$\sim$	22										1 (1)	1 (1)
22	~	24											
合		計	1 (0)		1 (1)	13 (8)		1 (0)	5 (4)	1 (1)		7 (6)	29 (20)

)内は活動件数を表す

## 地区別救助出場状況

令和3年中

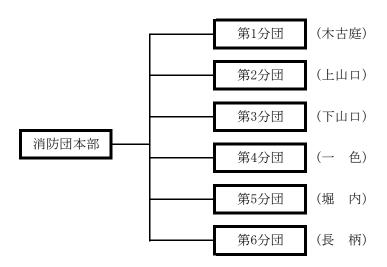
	種	重別	火 建	災 建 物 以	交通事	水難事	風然紫	機械を	建物等事	ガ 酸 ス 及	破 裂 事	その事	合計
区分			物	外	故	故	等 害	に故	に故	び故	故	他故	
木	古	庭							1				1
上	Щ	П						1				1	2
下	Щ	П			1								1
_		色	1			3			1			1	6
堀		内				10			2	1		1	14
長		柄							1			4	5
町		外											
合		計	1		1	13		1	5	1		7	29

# 消防団関係



津波避難訓練

#### 消防団組織図



## 消防団員定員・実員

令和4.4.1現在

			ì	肖防団本語	邻			消防分団			
消	分		団	副	本 団	分	副 分	部	班	寸	合
防	団	役職	長	団 長	部長	団 長	団 長	長	長	員	
数	数	階級	団長	副 団 長	本団部長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団員	計
1	6	定員	1	2	6	6	6	12	24	141	198
1	O	実員	1	2	3	6	6	12	24	101	155

## 消防団員報酬

令和4.4.1現在

										<i>&gt;</i> —
階	級		団長	副団長	分 団 長	副分団長	部長	班長	団員	技術員
年	額	92	2,000	72,000	56, 000	47, 000	38, 000	37,000	36, 500	23, 000

## 消防団員出動費用弁償

令和4.4.1現在

区			分	1回あたりの金額	摘      要
災 (	害 4 時 間	出未	場 満 )	4,000円	
災 (	害 4 時 間	出以,	場 上 )	8,000円	日をまたぐ出動の場合は、暦日を1日とし、連続する
警	戒	出	場	3,000円	出動時間の合計により区分を適用する。
訓	練	出	場	3,000円	

## 消防団詰所所在地

令和4.4.1現在

分団	住	構造	階数	敷地面積(㎡)	延面積(㎡)	完 成 年 月 日
第 1 分 団	木古庭 606番地の1	鉄骨造	2	217. 17	177. 49	平成2年11月13日
第 2 分 団	上山口 2405番地の3	鉄骨造	2	207. 60	117. 75	平成11年3月26日
第 3 分 団 (複合施設用途)	下山口 1705番地の1	鉄骨造	1	679. 61	85. 05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503番地の3	鉄骨造	2	337. 00	123. 41	平成13年3月27日
第 5 分 団	堀内 774番地の1	鉄骨造	2	311. 40	113. 96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 488番地の3	鉄骨造	1	756. 00	122. 42	平成29年3月31日

## 消防団員配置

令和4.4.1現在

階級	<u></u>	副団	分団	副分	部	班	<u>1</u>	合口
分団	長	長	長	団 長	長	長	員	計
本団	1	2			3			6
第 1 分 団			1	1	2	4	17	25
第 2 分 団			1	1	2	4	13	21
第 3 分 団			1	1	2	4	14	22
第 4 分 団			1	1	2	4	13	21
第 5 分 団			1	1	2	4	21	29
第 6 分 団			1	1	2	4	23	31
合 計	1	2	6	6	15	24	101	155

## 消防団員年齢

令和4.4.1現在

階級	4	副団	分 団	副分団長	部	班	<u>4</u>	合
年齢	長	長	長	長	長	長	員	計
18 ~ 24							10	10
$25 \sim 29$							5	5
$30 \sim 34$						1	14	15
$35 \sim 39$				1	2	5	16	24
40 ~ 44			2	1	4	4	24	35
45 ~ 49			2	3	4	6	14	29
$50 \sim 54$			2	1	4	4	13	24
$55 \sim 59$					1	3	3	7
60 ~ 64	1	2				1	2	6
65 歳 以 上	_	_	_		_	_	_	
合 計	1	2	6	6	15	24	101	155
平 均 年 齢	60	62	47	45	47	46	40	

## 消防団員勤続年数

令和4.4.1現在

分団 年数	本団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分団	第 6 分団	合計
5 年 未 満		3	2	5	6	5	8	29
5 年以上10年未満		5	3	9	3	9	6	35
10年以上15年未満		5	8	3	4	7	8	35
15年以上20年未満	2	3	5	3	8	5	4	30
20年以上25年未満	2	3	3	1		3	4	16
25年以上30年未満	2	2					1	5
30 年 以 上		4		1				5
合 計	6	25	21	22	21	29	31	155

## 消防団出場状況

令和3年度

	分団									
			本	第 1	第 2 分 団	第 3	第 4	第 5	第 6	合
	回	数	団	分 団	分 団	分 団	分 団	分 団	分 団	計
出場	人	員								
火災	口	数								
八灰	人	員								
訓練	口	数	13	16	14	16	15	16	24	114
可川水	人	員	103	45	57	54	60	68	185	572
警戒	口	数	3	18	17	16	17	18	14	103
音风	人	員	11	109	96	90	92	111	98	607
風水害	口	数	1	1	1	1	1	1	1	7
風八音	人	員	6	7	13	11	7	13	17	74
その他	口	数				1	1			2
てマンド店	人	員				7	8			15
合 計	延旦	】数	17	35	32	34	34	35	39	226
	延人	、員	120	161	166	162	167	192	300	1, 268

## 消防団現有車両機械

令和4.4.1現在

区分		車 両		登 録	原	動	幾    才	<sup>ξ</sup> ν	プ
分団	配置車両	会 社 名	年式	年月日	エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社 名	ポンプ 型 式	ポ ン プ 級 別
fata	消防ポンプ 自動車	日野	平成 17年	平成17年 3月9日	日野	4, 000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 1 分 団	資機 材   搬送 事	日 産	平成 29年	平成29年 12月5日	日 産	650			
5	小 型 動力ポンプ		平成 27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第 2	消防ポンプ 自動車	日 野	平成 17年	平成17年 10月20日	日 野	4, 000	G M いちはら	GM2H2	A-2
分団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	平成 26年	平成26年 3月17日	ダイハツ	650	トーハツ H26年式 526CC	VF63AS	B-2
tota	消防ポンプ 自動車	日 野	平成 20年	平成20年 10月16日	日 野	4, 000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 3 分 団	資機 材   搬送 事	日 産	平成 28年	平成28年 12月9日	日 産	650			
[2]	小 型 動力ポンプ		平成 26年	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第 4	消防ポンプ 自動車	トヨタ	令和 2年	令和2年 2月12日	トヨタ	2, 980	モリタ	MZI	A-2
分団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	スバル	平成 20年	平成20年 10月30日	スバル	650	トーハツ H27年式 209CC	VF21BS	C-1
第 5	消防ポンプ 自動車	日野	平成 22年	平成22年 3月19日	日 野	4, 000	G M いちはら	GM2H2	A-2
分団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	平成 22年	平成22年 12月2日	ダイハツ	650	トーハツ H22年式 526CC	VF63AS	B-2
gat	消防ポンプ 自動車	日 野	平成 21年	平成21年 10月15日	日 野	4, 000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 6 分 団	資機 材   搬送 事	日 産	平成 30年	平成30年 11月26日	日 産	650			
য	小 型 動力ポンプ		平成 27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

## 消防団備品配置

令和4.4.1現在

K				folio.	folio.	laka	laha		4.1現仕
分[	<u>-</u>	合	本	第	第	第	第	第	第
				1	2	3	4	5	6
				分	分	分	分	分	分
備品		計	寸	団	団	寸	団	寸	寸
消防ポンプ自動	車	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポン	プ	3		1		1			1
小型動力ポン付積載	プ 車	3			1		1	1	
資 機 材 搬 送	車	3		1		1			1
制	服	155	6	25	21	22	21	29	31
活動	服	155	6	25	21	22	21	29	31
安全	帽	157	6	19	20	30	20	36	26
救 助 用 半 長	靴	155	6	25	21	22	21	29	31
防火	衣	135	6	24	20	25	20	20	20
防火	帽	146	6	33	20	27	20	20	20
デジタル簡易無線	機	65	15	8	8	8	8	10	8
特 定 小 電 力 無 線	機	33	3	5	5	5	5	5	5
ホ ー ス ( 5 0 mm	)	240		38	43	39	40	38	42
応急処置用セッ	7	6		1	1	1	1	1	1
担	架	8		1	3	1	1	1	1
エンジンカッタ	ſ	6		1	1	1	1	1	1
チェーンソ	Ţ	13		2	2	2	3	2	2
バー	ル	13		2	2	2	3	2	2
拡 声	器	10		1	1	3	3	1	1
発 動 発 電	機	10		1	2	2	2	1	2
投 光	機	14		2	2	2	4	2	2
救 命 ボ ー	٢	1	1						
救 命 胴	衣	90		10	10	20	20	20	10
大 型 テ ン	7	1	1						

令和4年版消防年報

編集·発行 葉山町消防本部

〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地の10 TEL 046 (876) 0119 FAX 046 (876) 1263